

Ⅲ. 津山市教育委員会60年の歩み

1. 歴代教育委員、委員長、教育長

(1) 歴代教育委員

青木 勘	昭和 27. 11. 1 ~ 30. 1.
柴田 治	昭和 27. 11. 1 ~ 31. 9. 30
古峪 草平	昭和 27. 11. 1 ~ 29. 12.
小林 利一	昭和 27. 11. 1 ~ 31. 9. 30
江見 正	昭和 27. 11. 1 ~ 31. 9. 30
川端 克己	昭和 27. 11. 1 ~ 30. 4
椋代 誠一	昭和 27. 11. 1 ~ 29. 10. 31
下山 練	昭和 29. 11. 1 ~ 31. 9. 30
頃安 義家	昭和 29. 12. ~ 31. 9. 30
山本方之助	昭和 30. 4. 30 ~ 31. 9. 30
難波 重勇	昭和 30. 4. ~ 30. 8. 31
川端 克己	昭和 30. 8. 31 ~ 31. 9. 30

▼教育委員会法廃止、地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行、市長より委員任命

大山伊都子	昭和 31. 10. 1 ~ 36. 9. 30
宮本 祥郎	昭和 31. 10. 1 ~ 37. 3. 31
垣谷 猛	昭和 31. 10. 1 ~ 37. 9. 30
下山 練	昭和 31. 10. 1 ~ 44. 4. 1
萬代 嘉三	昭和 31. 10. 1 ~ 34. 9. 30
飯田 洋二	昭和 34. 12. 25 ~ 38. 12. 24
木村もと子	昭和 37. 7. 7 ~ 41. 6. 30
西下 止夫	昭和 37. 12. 25 ~ 49. 12. 24
江原 滋	昭和 38. 3. 23 ~ 39. 9. 30
児島 健	昭和 39. 3. 30 ~ 42. 3. 31
真屋猪一郎	昭和 39. 12. 26 ~ 47. 12. 25
那須 修二	昭和 41. 12. 22 ~ 49. 12. 21
垂井寛一郎	昭和 43. 4. 1 ~ 51. 3. 31
木村 岩治	昭和 44. 4. 2 ~ 53. 6. 1
武岡 英夫	昭和 47. 12. 26 ~ 55. 12. 25
清田 寂圓	昭和 49. 12. 25 ~ 57. 12. 24
保田 英生	昭和 49. 12. 25 ~ 57. 12. 24
産賀 靖弘	昭和 51. 4. 1 ~ 63. 3. 31
福島 祐一	昭和 53. 6. 17 ~ 平成 1. 6. 30
松本喜三郎	昭和 55. 12. 26 ~ 63. 12. 25
赤木美枝子	昭和 57. 12. 25 ~ 平成 2. 12. 24
橋本勝之助	昭和 57. 12. 25 ~ 平成 2. 12. 24
牧野 弘典	昭和 63. 4. 1 ~ 平成 4. 12. 19
熱田 章	昭和 63. 12. 26 ~ 平成 12. 12. 25
萩原 賢二	平成元. 7. 1 ~ 3. 6. 25
阿部 靖子	平成 2. 12. 25 ~ 6. 12. 24

鍋島 英夫	平成 2. 12. 25 ~ 10. 12. 24
森定 貞雄	平成 3. 7. 1 ~ 4. 9. 30
藤原 修己	平成 4. 10. 1 ~ 8. 9. 30
後藤 赳	平成 5. 4. 1 ~ 8. 3. 31
横川寿美子	平成 6. 12. 25 ~ 12. 3. 31
松尾 康義	平成 8. 4. 1 ~ 16. 3. 31
小林 正	平成 8. 10. 1 ~ 16. 9. 30
竹本 巧	平成 10. 12. 25 ~ 18. 12. 24
杉山 知子	平成 12. 4. 1 ~ 18. 12. 24
黒瀬 通弘	平成 12. 12. 26 ~ 20. 12. 25
神崎 博彦	平成 16. 4. 1 ~ 18. 4. 21
岸本 伍郎	平成 16. 10. 1 ~
藤田 長久	平成 18. 5. 1 ~ 22. 3. 31
八木恵美子	平成 18. 12. 25 ~ 22. 12. 24
荻田 裕也	平成 18. 12. 25 ~ 22. 12. 24
吉井 常浩	平成 20. 12. 26 ~
田村 芳倫	平成 22. 4. 1 ~
居原田洋子	平成 22. 12. 25 ~
渡邊 信介	平成 22. 12. 25 ~

(2) 歴代委員長

青木 勘	昭和 27. 11. 1 ~ 30. 1.
柴田 治	昭和 30. 1 ~ 30. 8.
小林 利一	昭和 30. 9. ~ 31. 9. 30

▼教育委員会法廃止、地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行

垣谷 猛	昭和 31. 10. 1 ~ 35. 9. 30
宮本 祥郎	昭和 35. 10. 1 ~ 37. 3. 31
飯田 洋二	昭和 37. 4 ~ 38. 12. 24
西下 止夫	昭和 39. 7. 1. ~ 49. 12. 24
垂井寛一郎	昭和 50. 1. 1 ~ 50. 12. 31
武岡 英夫	昭和 51. 1. 1 ~ 51. 12. 31
保田 英生	昭和 52. 1. 1 ~ 52. 12. 31
清田 寂圓	昭和 53. 1. 1 ~ 53. 12. 31
産賀 靖弘	昭和 54. 1. 1 ~ 54. 12. 31
武岡 英夫	昭和 55. 1. 1 ~ 55. 12. 25
保田 英生	昭和 55. 12. 26 ~ 56. 12. 31
清田 寂圓	昭和 57. 1. 1 ~ 57. 12. 24
産賀 靖弘	昭和 57. 12. 27 ~ 58. 12. 31
松本喜三郎	昭和 59. 1. 1 ~ 59. 12. 31
橋本勝之助	昭和 60. 1. 1 ~ 60. 12. 31

赤木美枝子	昭和 61. 1. 1 ～ 61. 12. 31
産賀 靖弘	昭和 62. 1. 1 ～ 62. 12. 31
松本喜三郎	昭和 63. 1. 1 ～ 63. 12. 25
橋本勝之助	昭和 64. 1. 1 ～平成元. 12. 31
赤木美枝子	平成 2. 1. 1 ～ 2. 12. 31
牧野 弘典	平成 3. 1. 1 ～ 3. 12. 31
熱田 章	平成 4. 1. 1 ～ 4. 12. 31
鍋島 英夫	平成 5. 1. 1 ～ 5. 12. 31
熱田 章	平成 6. 1. 1 ～ 6. 12. 31
鍋島 英夫	平成 7. 1. 1 ～ 7. 12. 31
熱田 章	平成 8. 1. 1 ～ 8. 12. 31
鍋島 英夫	平成 9. 1. 1 ～ 9. 12. 31
小林 正	平成 10. 1. 1 ～ 10. 12. 31
熱田 章	平成 11. 1. 1 ～ 11. 12. 31
小林 正	平成 12. 1. 1 ～ 13. 9. 30
竹本 巧	平成 13. 10. 1 ～ 15. 12. 24
黒瀬 通弘	平成 15. 12. 25 ～ 16. 12. 24
杉山 知子	平成 16. 12. 25 ～ 17. 12. 24
竹本 巧	平成 17. 12. 25 ～ 18. 12. 24
岸本 伍郎	平成 18. 12. 25 ～ 21. 9. 30
八木恵三子	平成 21. 10. 1 ～ 22. 9. 30
荻田 裕也	平成 22. 10. 1 ～ 22. 12. 24
吉井 常浩	平成 22. 12. 27 ～ 23. 12. 26
岸本 伍郎	平成 23. 12. 27 ～

(3) 歴代教育長

初 代	椋代 誠一	昭和 27. 11. 1 ～ 29. 9. 30
第2代	下山 練	昭和 29. 10. 1 ～ 31. 9. 30

▼教育委員会法廃止、地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行

	下山 練	昭和 31. 10. 1 ～ 44. 4. 1
第3代	木村 岩治	昭和 44. 4. 2 ～ 53. 6. 1
第4代	福島 祐一	昭和 53. 6. 23 ～平成 1. 6. 30
第5代	萩原 賢二	平成元. 7. 1 ～ 3. 6. 25
第6代	森定 貞雄	平成 3. 7. 12 ～ 4. 9. 30
第7代	藤原 修己	平成 4. 10. 2 ～ 8. 9. 30
第8代	松尾 康義	平成 8. 10. 1 ～ 16. 3. 31
第9代	神崎 博彦	平成 16. 4. 1 ～ 18. 4. 21
第10代	藤田 長久	平成 18. 5. 1 ～ 22. 3. 31
第11代	田村 芳倫	平成 22. 4. 1 ～

2. 教育委員会事務局組織の変遷

昭和27. 11. 1 発足	昭和29. 3. 1	昭和32. 4. 1	昭和35. 4. 1	昭和37. 4. 1	昭和38. 4. 1	昭和39. 4. 1
庶務課	庶務課	庶務課	庶務課	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係
教育課	学校教育課	学校教育課	学校教育課	学校教育課 学事係 指導係	学校教育課 学事係 指導係	学校教育課 学事係 指導係
(郷土館) (公民館) (市立高校) (中学校) (小学校) (幼稚園)	社会教育課	社会教育課	社会教育課	社会教育課 体育係 社教係	社会教育課 社教係 体育係	社会教育課 社教係 体育係
	(郷土館)	(郷土館)	(郷土館)	(郷土館)	(郷土館)	(郷土館)
	(公民館)	(公民館)	(公民館)			
	(市立高校)	(市立高校)	(公立高校)	(高校係)	(市立高校)	(高校)
	(中学校)	(中学校)	(中学校)	(中学校)	(中学校)	(中学)
	(小学校)	(小学校)	(小学校)	(小学校)	(小学校)	(小学校)
	(幼稚園)	(幼稚園)	(幼稚園)	(幼稚園)	(幼稚園)	(幼稚園)

昭和40. 4. 1	昭和41. 5. 1	昭和43. 4. 1	昭和45. 5. 1	昭和46. 4. 1	昭和49. 4. 1	昭和52. 4. 1
庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係
学校教育課 学事係 指導係	学校教育課 学事係 指導係	学校教育課 学事係 指導係	学校教育課 学事係 指導係	学校教育課 学事係 指導係	学校教育課 学事係 指導係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係
社会教育課 社教係 体育係 高校係	社会教育課 社会教育係 高野公民館 中央公民館 田邑公民館 体育係	社会教育課 社会教育係 中央公民館 田邑公民館 高野公民館 社会体育係	社会教育課 社会教育係 中央公民館 補導センター	社会教育課 社会教育係 文化係 中央公民館 郷土館 補導センター	社会教育課 社会教育係 文化係 中央公民館 郷土館 補導センター	社会教育課 社会教育係 文化係 中央公民館 郷土館 補導センター
(郷土館)	(郷土館)	(郷土館)	(郷土館)			
			保健体育課 保健給食係 体育係	保健体育課 保健給食係 体育係	保健体育課 保健給食係 体育係	体育課 管理係 体育係

昭和53. 4. 1	昭和54. 4. 1	昭和56. 4. 1	昭和58. 4. 1	昭和59. 4. 1	昭和61. 4. 1	昭和62. 4. 1
庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係
学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 (保健給食主査)	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係
社会教育課 社会教育係 文化係 中央公民館 郷土館 青少年補導センター 図書館 洋学資料館	社会教育課 青少年教育係 成人教育係 文化係 中央公民館 郷土館 青少年補導センター 図書館 洋学資料館	社会教育課 青少年教育係 成人教育係 文化係 中央公民館 郷土館 図書館 洋学資料館 青少年補導センター	社会教育課 社会教育係 (青少年教育主査) 文化係 郷土館 洋学資料館 民主教育指導室 中央公民館 図書館 津山婦人青年の家 青少年補導センター	社会教育課 社会教育係 (青少年教育主査) 文化係 郷土館 洋学資料館 同和教育指導室 中央公民館 図書館 津山婦人青年の家	社会教育課 社会教育係 中央公民館 婦人青年の家 同和教育指導室 図書館 文化課 文化係 郷土館 洋学資料館	社会教育課 社会教育係 (青少年教育主査) 同和教育指導室 中央公民館 婦人青年の家 図書館 文化課 文化係 郷土館 洋学資料館
体育課 管理係 体育係	体育課 管理係 体育係	体育課 管理係 体育係	体育課 体育振興係 (施設主査)	体育課 体育振興係 (施設主査)	体育課 体育振興係	体育課 体育振興係

昭和63. 4. 1	平成元. 4. 1	平成2. 4. 1	平成3. 4. 1	平成4. 4. 1	平成9. 4. 1	平成10. 4. 1
					生涯学習政策審議室	生涯学習政策審議室
庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	庶務課 庶務係 管理係	教育総務課 庶務係 管理係	教育管理課 庶務係 管理係	教育管理課 庶務係 管理係
学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係
社会教育課 社会教育係	社会教育課 社会教育係	社会教育課 社会教育係	社会教育課 社会教育係	社会教育課 社会教育係	社会教育課 社会教育係 同和教育係	社会教育課 社会教育係 同和教育係
同和教育指導室	同和教育指導室	同和教育指導室	同和教育指導室	同和教育指導室	鶴山塾 青少年育成センター	鶴山塾 青少年育成センター
中央公民館 婦人青年の家	中央公民館 婦人青年の家	中央公民館 婦人青年の家	中央公民館 婦人青年の家	中央公民館 婦人青年の家	中央公民館 婦人青年の家	中央公民館 婦人青年の家
図書館	図書館	図書館 図書館建設準備室	図書館 図書館建設準備室	図書館 図書館建設準備室	図書館	図書館
文化課 文化係 郷土博物館 洋学資料館	文化課 文化係 郷土博物館 洋学資料館	文化課 文化係 郷土博物館 洋学資料館	文化課 文化係 郷土博物館 洋学資料館 弥生の里文化財センター	文化課 文化係 郷土博物館 洋学資料館 弥生の里文化財センター	文化課 文化係 洋学資料館 郷土博物館 弥生の里文化財センター	文化課 文化係 洋学資料館 郷土博物館 弥生の里文化財センター 津山城整備推進係
体育課 体育振興係	体育課 体育振興係	体育課 体育振興係	体育課 体育振興係	市民スポーツ課 スポーツ係 施設管理係	スポーツ課 スポーツ振興係 施設管理係	スポーツ課 スポーツ振興係 施設管理係
	生涯学習振興室	生涯学習振興室	生涯学習振興室	生涯学習振興室		

平成12. 4. 1	平成14. 4. 1	平成15. 4. 1	平成17. 4. 1	平成18. 4. 1	平成20. 4. 1	平成23. 4. 1
生涯学習政策審議室	生涯学習政策審議室	生涯学習政策審議室	生涯学習政策審議室	生涯学習政策審議室		学校教育部
教育管理課 庶務係 管理係	教育管理課 庶務係 管理係	教育管理課 庶務係 管理係	教育管理課 庶務係 管理係	教育管理課 庶務係 管理係	教育総務課 庶務係 管理係	
学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係 (学校給食センター)	学校教育課 学事係 指導係 保健給食係 (学校給食センター)	学校教育課 学事係 指導係 学校給食課 給食食育係 (学校給食センター)	
						生涯学習部
社会教育課 社会教育係 同和教育係	社会教育課 社会教育係 人権教育係	社会教育課 社会教育係 人権教育係	社会教育課 社会教育係 人権教育係	社会教育課 社会教育係 人権教育係		
鶴山塾 青少年育成センター 中央公民館 婦人青年の家	鶴山塾 青少年育成センター 中央公民館 婦人青年の家	鶴山塾 青少年育成センター 中央公民館 婦人青年の家	鶴山塾 青少年育成センター 中央公民館 各公民館	鶴山塾 青少年育成センター 中央公民館 各公民館	健全育成課 鶴山塾 青少年育成センター	
図書館	図書館	図書館	図書館	図書館		
文化課 文化係 洋学資料館 郷土博物館 弥生の里文化財センター 津山城整備推進係	文化課 文化係 洋学資料館 郷土博物館 弥生の里文化財センター 津山城整備推進係 (文化センター) (ベルフォーレ津山)	文化課 文化係 洋学資料館 郷土博物館 弥生の里文化財センター 津山城整備推進係	文化課 文化係 洋学資料館 郷土博物館 弥生の里文化財センター 津山城整備推進係 文化センター	文化課 文化係 洋学資料館 郷土博物館 弥生の里文化財センター 津山城整備推進係 文化センター	文化財課 文化財保護係 弥生の里文化財センター	文化課 文化振興係 文化財保護係 洋学資料館 郷土博物館 弥生の里文化財センター
スポーツ課 スポーツ振興係 施設管理係 国体準備室	スポーツ課 スポーツ振興係 施設管理係	スポーツ課 スポーツ振興係 施設管理係	スポーツ課 スポーツ振興係 施設管理係 スポーツセンター等	スポーツ課 スポーツ振興係 施設管理係 スポーツセンター等		スポーツ課 スポーツ振興係 施設管理係 スポーツセンター等

3. 教育行政重点施策の変遷

◇教育行政の変遷について

戦後の地方教育行政について、岡山県教育委員会発行の「教育委員会の歩み 40 年」によれば、敗戦直後の地方教育行政が戦前の制度の存続であったことは言うまでもありません。その特質は、(1)教育行政が一般行政の一部として行われ、教育委員会制度に類するものは設置されていなかったこと。(2)地方教育行政の担当部局において、とくにその要職を内務官僚が独占していたこと。(3)文部大臣の指揮監督が、教育内容に関して強力に行われていたこと。(4)府県や市町村に視学官・視学がおかれ、上司の命を受け学事の視察その他学事に関する事務をつかさどることを職務としたこと。(5)市町村に、市町村長の行う教育行政事務を補助し、諮問に答えるため、任命制の学務員が置かれていたことなどです。

このような制度は、昭和 23 年、教育委員会制度が登場することによって抜本的に改革されました。戦後の民主的な教育体制確立のための最初の立法が昭和 22 年 3 月 31 日公布施行の「教育基本法」です。その後の学校教育法をはじめとする教育関係の法規は、その理念を具体化するものであり、教育行政制度も戦後大きな変革を見ました。

そして、「教育委員会法」は、昭和 23 年 7 月 15 日に公布施行され、その内容は、①教育委員会は都道府県・市町村・特別区に設置されること。②その権限は地方公共団体の権限に属する教育・学術・文化を管理執行すること。③都道府県は 7 人、市町村は 5 人の委員で構成し、うち 1 人は議会選出の委員、他は住民による選挙であり、選挙による委員の任期は 4 年、2 年ごとの半数改選。④教育委員会の会議については、委員長・副委員長を互選し、委員長が招集する。定例会は月 1 回、会議は公開とする。⑤教育長及び事務局について、教育委員会に教育長を置くが、教育長は、教員免許状所持者であり任期 4 年、となっていました。教育委員の素人支配(レイマンコントロール)と、教育長の専門指導性(プロフェッショナル リーダーシップ)の調和を図ったものであり、教育委員会の設置時期については、都道府県が昭和 23 年 11 月 1 日と義務づけられ、市町村は昭和 27 年 11 月 1 日を期して設置されました。

昭和31年6月30日には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)が公布、10 月 1 日に施行され、「教育委員会法」は廃止されました。

地教行法に規定された教育委員会の制度の概要はここでは省略しますが、現在の任命制の教育委員会制度へと発展していきました。

◇津山市教育委員会の重点施策については、急速に進展する社会環境の変化の中で、教育行政が当面する諸課題に対処するために策定されたものです。

昭和 22 年度から 42 年度までの教育行政の政策については、各年度ごとの施策資料がないため、昭和 43 年に発行された「津山市教育要覧－1967－20 年の歩み」から 21 年間を総合した項目を記載しました。その後については「津山市の教育」にある施策の項目を記載しましたが、15 年分が未発行もしくは保存されていないため、その年度については未掲載となっています。

◇昭和22年度(1947年度) ～ 昭和42年度(1967年度)

1 学校教育

幼稚園教育、

小学校教育、小学校給食、小学校図書館教育、小学校保健・体育・安全教育、

中学校教育、中学校図書館教育、中学校保健・体育・安全教育

特殊教育

2 市立高等学校

3 社会教育

戦後の社会教育のあゆみ

- 公民館
- 青年教育
- 成人教育
- 4 文化財
 - 指定文化財
- 5 視聴覚教育とライブラリー
- 6 芸術・文化教育
- 7 民主教育
- 8 社会体育
 - 体育施設の利用概要

◇平成43年度(1968年度) ～ 平成47年度(1972年度)・・・不明

◇昭和48年度(1973年度)

- 1 正常な学校教育の推進と教育の機会均等の促進
 - (1)調和と統一のある教育課程の実践
 - (2)教職員の資質の向上
 - (3)教育費の効率化と父母負担の軽減
 - (4)特殊教育施設の充実
 - (5)幼稚園教育の振興
 - (6)交通安全教育の徹底
- 2 中学校統合整備事業の推進
 - (1)校地・学区・通学対策の決定
 - (2)仮称第一中学校の建設第1期工事の完成
 - (3)学校用地の確保
- 3 市民憲章実践活動の推進
 - (1)明るい市民運動の育成
 - (2)青少年の健全育成
 - (3)芸術文化活動の振興
- 4 文化財の保護活用
- 5 民主教育の推進
 - (1)推進体制の確立
 - (2)民主教育の徹底
- 6 公民館活動の促進と社会教育振興計画の策定
- 7 博物館建設事業の推進
 - (1)建設ならびに展示計画の具体化
 - (2)第1年次工事の完遂
- 8 スポーツ振興都市宣言に基づく市民スポーツの振興
 - (1)スポーツ意識の高揚と市民の体力づくり
 - (2)健全な体育スポーツレクリエーション団体の育成
 - (3)既設体育施設の整備と管理運営の適正化
 - (4)市民体育館建設の促進
 - (5)学校体育施設の公開

◇昭和49年度(1974年度)・・・不明

◇昭和50年度(1975年度)

- 1 すべての子どもに、よりすぐれた教育を与えるために
 - (1)教育の資質向上をはかり、正常・円滑な学校運営を推進する
 - (2)民主教育を徹底する
 - (3)中学校統合整備事業を促進し、津山東・北陵両中学校の開校準備に万全を期する
- 2 豊かな人間性を身につけ、うるおいのある市民生活を営むために
 - (1)新しい公民館体制の定着をはかり、公民館教育を振興する
 - (2)公民館図書室の内容を充実し、市立図書館開設を目指して基盤の確立に努める
 - (3)文化芸術活動と、文化財保護事業を推進する
- 3 健康で明るい日常生活を送るために
 - (1)市民のスポーツ団体を育成し、日常生活にとけ込んだスポーツの普及振興をはかる
 - (2)県立体育館の建設を促進する
 - (3)全国総合体育大会受け入れ準備を促進する

◇昭和51年度(1976年度) ～ 昭和52年度(1977年度)・・・不明

◇昭和53年度(1978年度)

- 1 学校教育の充実
 - (1)豊かな心情を育てる教育
 - (2)一人一人を生かす教育
 - (3)ゆきとどいた教育
- 2 社会教育の充実
 - (1)社会連帯意識の高揚(心のふるさとづくり)
 - (2)自主的学習意欲の増進とボランティア活動の促進
 - (3)社会教育施設の整備充実
- 3 市民文化の向上
 - (1)文化活動、サークルへの積極的参加と自主的活動の促進
 - (2)郷土の理解と文化財愛護意識の高揚
 - (3)文化施設の整備充実
- 4 市民スポーツの振興
 - (1)スポーツを楽しむ明朗かつ達な市民性のかん養
 - (2)自主的スポーツ団体と指導者の育成
 - (3)スポーツ施設の整備充実

◇昭和54年度(1979年度)～昭和56年度(1981年度)・・・不明

◇昭和57年度(1982年度)

- 1 学本教育の充実
 - (1)豊かな心情を育てる教育
 - (2)きめ細かい生徒指導
 - (3)施設・設備の充実
- 2 社会教育の充実
 - (1)青少年の健全育成
 - (2)地域文化の創造

(3) 民主教育の推進(あらゆる機会と場を通して)

3 市民文化の向上

(1) 芸術文化への積極的参加と自主的創作活動の促進

(2) 郷土の理解と文化財愛護意識の高揚

(3) 文化施設の整備充実

(4) 文化振興基金の創設

4 市民スポーツの推進

(1) スポーツを楽しむ明朗かつ達な市民性のかん養

(2) 自主的スポーツ団体と指導者の育成

(3) スポーツ施設の整備充実

◇昭和58年度(1983年度)～昭和59年度(1984年度)・・・不明

◇昭和60年度(1985年度)

1 学校教育の充実 ―知・徳・体の調和のとれた人間形成― (生涯学習の基礎)

(1) 豊かな心情を育てる教育

(2) ゆとりと充実の教育

(3) 研究指導体制の整備と確立

(4) 施設・設備の整備充実

2 社会教育の推進 ―人間尊重と生涯学習を基本とする明るい地域づくりを―

(1) 社会教育活動の充実

(2) 同和教育の推進と徹底

(3) 心豊かな家庭づくり

(4) 青少年の健全育成

(5) 青年・婦人の自立と社会参加の推進

(6) 高齢化社会への対応

(7) 国際理解の推進

3 市民文化の向上 ―心豊かに、うるおいのある生活を―

(1) 芸術文化活動への積極的参加と自主的創作活動の促進

(2) 音楽都市構想の推進

(3) 郷土の理解と文化財愛護精神の高揚

(4) 文化財の保護・保存と活用

(5) 文化施設の整備充実

(6) 文化振興事業基金の充実

4 市民皆スポーツの推進 ―健康で活力にあふれる生活を―

(1) スポーツ活動の奨励と生涯スポーツ意識の高揚

(2) スポーツ団体の育成と指導者の養成及び指導力の向上

(3) スポーツ施設の整備充実と効果的活用

◇昭和61年度(1986年度)～昭和62年度(1987年度)・・・不明

◇昭和63年度(1988年度)

1 学校教育の充実 ―知・徳・体の調和のとれた人間形成― (生涯学習の基礎)

(1) 豊かな心情を育てる教育

- (2) 基礎的・基本的な内容を重視し、個性を生かす教育
- (3) 健康・安全教育の充実
- (4) 研究指導体制の整備と確立
- (5) 施設・設備の整備充実
- 2 社会教育の推進 ―人間尊重と生涯学習を基本とする明るい地域づくりを―
 - (1) 社会教育活動の充実
 - (2) 同和教育の推進と徹底
 - (3) 家庭教育の充実
 - (4) 青少年の健全育成
 - (5) 青年・婦人の自立と社会参加の促進
 - (6) 高齢化社会への対応
 - (7) 国際理解の促進
 - (8) 地域社会活動の促進
 - (9) 指導体制の整備と施設整備充実
 - (10) 生涯学習時代への対応と取り組み
 - (11) コミュニティづくりの推進
- 3 市民文化の向上 ―個性豊かな地域文化の創造発展をめざして―
 - (1) 芸術文化活動への積極的参加と自主的創作活動の促進
 - (2) 音楽都市構想の推進
 - (3) 郷土の理解と先人の精神的遺産の伝承保存
 - (4) 文化財の保護・保存と活用
 - (5) 文化施設の整備充実
 - (6) 文化振興事業基金の充実
 - (7) 文化交流の積極的促進
- 4 市民皆スポーツの推進 ―健康で活力にあふれる生活を―
 - (1) スポーツ活動の推進と生涯スポーツの振興
 - (2) スポーツ団体の育成と指導者の養成及び指導力の向上
 - (3) スポーツ施設の整備充実と効果的活用

◇平成元年度(1989年度) ～ 平成4年度(1992年度)

- 1 学校教育の充実 ―知・徳・体の調和のとれた人間形成― (生涯学習の基礎)
 - (1) 豊かな心情を育てる教育
 - (2) 基礎的・基本的な内容を重視し、個性を生かす教育
 - (3) 健康・安全教育の充実
 - (4) 研究指導体制の整備と確立
 - (5) 施設・設備の整備充実
- 2 社会教育の推進 ―人間尊重の精神涵養と生涯学習社会の実現―
 - (1) 生涯学習時代への対応
 - (2) 地域社会教育活動の促進
 - (3) 同和教育の推進と徹底
 - (4) 指導体制の整備
 - (5) 社会教育施設、設備の整備
 - (6) 家庭教育の充実
 - (7) 青少年の健全育成
 - (8) 青年、婦人の社会参加の促進

- (9) 高齢化社会への対応
- (10) 国際理解の促進
- 3 市民文化の向上 ―個性豊かな地域文化の創造発展をめざして―
 - (1) 芸術文化活動への積極的参加と自主的創作活動の促進
 - (2) 音楽都市構想の推進
 - (3) 郷土の理解と先人の精神的遺産の伝承・保存
 - (4) 文化財の保護・保存と活用
 - (5) 文化施設の整備充実
 - (6) 文化振興事業基金の充実
 - (7) 文化交流の積極的促進
- 4 市民皆スポーツの推進 ―健康で、活力にあふれる生活を―
 - (1) スポーツ活動の推進と生涯スポーツの振興
 - (2) スポーツ団体の育成と指導者の養成・確保及び指導力の向上
 - (3) スポーツ施設の整備充実と効果的活用

◇平成5年度(1993年度)

- 1 生涯学習の推進
 - (1) 各種学習講座の充実
 - (2) 学習ボランティアの募集とリーダーの養成
 - (3) 社会教育施設(生涯学習センター)等の研究
- 2 学校教育の推進
 - (1) 生涯学習の基礎の育成
 - (2) 生徒指導の充実
 - (3) 教職員研修を積極的に推進
 - (4) 計画的な教育環境を整備
 - (5) 津山市の特性を生かした教育を推進
- 3 社会教育の推進
 - (1) 地域活動と体験学習の推進
 - (2) コミュニティ活動の推進
 - (3) 同和教育の充実と推進
 - (4) 社会教育施設の充実
 - (5) 図書館、視聴覚ライブラリー活動の促進
- 4 豊かな文化活動の推進
 - (1) 芸術文化活動への積極的参加と自主的文化創作活動を促進
 - (2) 文化財の保護、保存と活用
 - (3) 文化施設の積極的な運営と活用をはかり、郷土の理解と先人の文化的遺産の伝承、保存
- 5 市民皆スポーツの推進
 - (1) スポーツ活動の推進と生涯スポーツの振興
 - (2) スポーツ団体の育成と連帯強化・スポーツ教室の活性化
 - (3) スポーツ指導体制の充実
 - (4) スポーツ施設の整備充実と効果的活用

◇平成6年度(1994年)

- 1 学校教育の充実 ―徳・知・体の調和のとれた人間形成―
- 2 障害児教育

- 3 学校給食
- 4 学校保健
- 5 学校安全
- 6 社会教育
- 7 同和教育
- 8 芸術・文化
- 9 文化財
- 10 体育・スポーツ

◇平成7年度(1995年度) ～ 平成13年度(2001年度)

1 生涯学習の推進

(1)津山市生涯学習推進 計画の見直し (策定、体制の整備、拡大と充実)(体制の充実と推進)

(2)各種学習講座の充実と推進

(3)生涯学習 ボランティアシステムの 確立 (情報提供システムの整備、 活用)

(4)社会教育施設設備の整備充実

2 学校教育の推進

(1)生涯学習の基礎を育てる

(2)生徒指導の充実を図る

(3)教職員研修を積極的に推進する

(4)計画的に教育環境を整備する

(5)津山市の特性を生かした教育を推進する

3 社会教育の推進

(1)社会教育関係団体の 育成 とボランティア活動の推進 (支援 社会参加活動の促進と)

(2)公民館活動の活性化とコミュニティ活動の 推進 (環境づくり)

(3)同和教育の充実と推進

(4)社会教育施設の充実

(5)図書館・視聴覚ライブラリー活動の促進

(6)青少年育成センター活動の推進

(7)教育相談センター「鶴山塾」活動の推進

4 豊かな文化活動の推進

(1)芸術鑑賞・創作活動の機会提供 (創作活動の奨励と学習・鑑賞・発表機会の提供)

(2)文化財の保護と活用 (・保存)

(3)文化施設の充実と活用

5 市民皆スポーツの推進

(1)スポーツ活動の推進と生涯スポーツの振興

(2)スポーツ団体の育成と連帯強化及びスポーツ教室の活性化

(3)スポーツ指導体制の充実

(4)スポーツ施設の整備・充実と効率的活用

◇平成14年度(2002年) ～ 平成16年度(2004年)

1 生涯学習の推進

(1)津山市生涯学習推進体制の充実と推進

(2)各種学習講座の充実と推進

(3)生涯学習情報提供システムの活用

- (4) 社会教育施設設備の整備充実
- 2 学校教育の推進
 - (1) 「生きる力」を育む授業づくり
 - (2) 創意あふれる教育活動
 - (3) 魅力ある授業づくり及び教師としての専門性を高める研修
 - (4) 充実した生徒指導
 - (5) 地域に開かれた学校(園)づくり
- 3 社会教育の推進
 - (1) 社会参加活動の促進と社会教育関係団体の支援
 - (2) 公民館活動の活性化とコミュニティ活動の環境づくり
 - (3) 人権教育の充実と推進
 - (4) 社会教育施設の充実
 - (5) 図書館・視聴覚ライブラリー活動の推進
 - (6) 青少年育成センター活動の推進
 - (7) 教育センター「鶴山塾」活動の推進
- 4 豊かな文化活動の推進
 - (1) 創作活動の奨励と学習・鑑賞・発表機会の提供
 - (2) 文化財の保護・保存と活用
 - (3) 文化施設の充実と活用
- 5 市民皆スポーツの推進
 - (1) スポーツ活動の推進と生涯スポーツの振興
 - (2) スポーツ団体の育成と連帯強化及びスポーツ教室の活性化
 - (3) スポーツ指導体制の充実
 - (4) スポーツ施設の整備・充実と効率的活用

◇平成17年度(2005年度) ～ 平成18年度(2006年度)

▽新津山市の教育方針

- 1 学校教育 ―生きる力を育む授業づくり、学校づくり―
 - (1) 「確かな学力」育成のための授業づくり
 - ① 「わかる授業」で基礎・基本の確実な定着を
 - ② 幼稚園教育要領に基づく幼稚園教育
 - (2) 心の教育の推進
 - ① 道徳教育
 - ② 人権教育
 - ③ あいさつ運動
 - (3) 創意あふれる教育の推進
 - ① 総合的な学習の時間
 - ② 地域体験チャレンジ事業 (②ふるさと学習推進事業)
 - ③ 豊かな体験活動事業 (平成18年度文科省指定)
 - ④ 健康・安全教育
 - (4) 時代の要請に応じた研究及び教師としての専門性を高める研修
 - ① 津山市学校教育センター
 - ② 障害のある子どもたちへ対応する教育
 - ③ 情報教育
 - ④ 英語教育・英語活動・国際理解学習等

- ⑤各種研修会の開催
- ⑥教員の評価に関する調査研究（新しい教員評価システムの実施）
- ⑦学区の弾力化

(5) 充実した生徒指導

- ①積極的な生徒指導の推進
- ②生徒会等交流研究（削除）
- ③さわやか相談事業（スクールサポーター事業・子どもと親の相談員）
- ④ポポロつやま（適応指導教室）
- ⑤スクールカウンセラー事業
- ⑥スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業（SSN）
- ⑦問題行動に対する地域における行動連携推進事業（サポートチーム等地域支援システムづくり）

(6) 地域に開かれた学校（園）づくり

- ①つやまっ子・デビュー 14
- ②学校評議員制度と学校評価の研究と充実
- ③地域に開かれた幼稚園事業

- 2 障害児教育 ―特別支援教育の推進―
- 3 学校給食
- 4 学校安全
- 5 学校保健
- 6 社会教育の推進
- 7 生涯学習の推進
- 8 人権教育の推進
- 9 芸術・文化
- 10 文化財
- 11 市民皆スポーツの推進（生涯スポーツの充実）

◇平成19年度(2007年度)

▽ 新津山市の教育方針

1 幼稚園教育

- (1)生きる力の基礎を培う保育活動の充実
- (2)地域の子育て支援センターとして開かれた幼稚園づくりの推進
- (3)今後の幼稚園についての検討の本格化

2 学校教育

- (1)確かな学力の向上、情報教育、国際理解教育、環境教育の充実
- (2)道徳教育の充実や体験活動を重視した教育の推進、あいさつ運動や生徒指導の充実
- (3)学校の活性化と開かれた学校づくりの推進
- (4)障害のある子どものニーズに応じた特別支援教育の推進
- (5)健康体力の保持増進や安全確保、給食センターの建設と運営方針の確定等さらなる学校給食の充実
- (6)「安全・安心の学校づくり」のための施設・設備の充実や防犯活動の推進

3 生涯学習

- (1)人づくりとまちづくりにつなげるための生涯学習推進組織の活性化
- (2)生涯学習リクエスト大学の充実と拡大
- (3)学校支援ボランティア登録の推進

- (4)岡山県で行われる全国生涯学習フェスティバル(まなびピア 2007)での津山市主催事業の官民
協同実施とさらなる生涯学習の普及啓発

4 社会教育

- (1)社会教育の拠点である公民館との連携強化と職員研修の充実
- (2)地域振興拠点としての公民館機能の充実と取組み強化
- (3)子育て・家庭教育支援や放課後子ども教室推進事業の実施
- (4)青年の健全育成と学習機会の提供
- (5)地域の情報拠点・学習拠点としての図書館サービスの向上

5 人権教育

- (1)学校における一人ひとりの人権を尊重する教育の推進
- (2)社会における正しい人権感覚を身につけるための情報の提供や学習機会の充実

6 青少年健全育成

- (1)青少年健全育成関係機関等との連携強化
- (2)青少年育成指導員の増員と制度の拡大
- (3)青少年育成指導委員への通信手段の改革
- (4)犯罪防止のための環境地図の更新
- (5)不審者出没の抑制のため、警察署等との連携と巡回指導の強化
- (6)子どもや保護者の悩みに対する相談・助言・援助活動の充実

7 文化の振興

- (1)史跡や建造物等文化財の保存・活用のための整備の推進
- (2)創作活動の支援と発表・鑑賞機会の提供等、芸術文化活動の推進
- (3)指定管理者制度の導入等、文化施設の効率的運営
- (4)文化団体の支援や相互交流支援及び連携による芸術文化活動の活性化
- (5)「津山洋学」の特色を生かした新洋学資料館建設事業の推進

8 スポーツの振興

- (1)生涯スポーツ社会の推進を図るため、スポーツ振興計画の策定
- (2)スポーツ団体の自立を目指し、団体の育成と活性化の支援
- (3)行事や教室等スポーツプログラムの提供とスポーツボランティアの育成
- (4)スポーツ施設の充実と安全性の確保および指定管理者制度の導入による維持管理の効率化
- (5)選手の育成等競技力の向上と応援団の活性化
- (6)スポーツ技術、行事の企画等を行う指導者の育成

◇平成20年度(2008年度)

<教育委員会>

1 幼稚園教育 [心を育てる幼児教育]

- (1)生きる力の基礎を培う保育活動の充実
- (2)地域の子育て支援センターとして開かれた幼稚園づくりの推進
- (3)今後の幼児教育における幼稚園の役割やあり方についての検討

2 学校教育 [「生きる力」を育てる環境づくり、学校づくり]

- (1)授業改善の推進と現代的教育課題に対応した教育の充実
- (2)道徳教育の充実と体験活動を重視した教育の推進・生徒指導の充実
- (3)健康体力の保持増進と安全確保
- (4)障害のある子どもの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進と充実
- (5)学校の活性化と開かれた学校づくりの推進
- (6)学校教育における人権教育の推進

- 3 学校給食 [健やかな体をつくる学校給食、食教育]
 - (1) 学校給食の充実
 - (2) 食育の推進
- 4 青少年健全育成 [子どもは地域で育つ、大人は地域で手をつなぐ]
 - (1) 青少年育成センターの充実と関係機関等との連携
 - (2) 青少年育成指導委員の増員
 - (3) 青少年育成指導委員への通信手段の改革
 - (4) 環境地図の更新
 - (5) 不審者出没の抑制強化
 - (6) 教育相談センター「鶴山塾」の充実
- 5 文化財の保存・活用 [文化財を生かした「豊かな地域づくり」をめざします]
 - (1) 史跡の保存整備及び公有化の推進
 - (2) 歴史的建造物等の保存修理の促進
 - (3) 文化財の調査研究と文化財指定の積極的な推進
 - (4) 指定文化財等保存のための管理の充実
 - (5) 文化財収蔵展示施設等の運営管理の充実

＜補助執行を行なう市長部局の部署＞

- 1 スポーツの振興 [Have Fun つやまスポーツライフ]
 - (1) 生涯スポーツ社会の実演に向けスポーツ振興基本計画の実践
 - (2) スポーツ団体の自立を目指し、団体の育成と活性化の支援
 - (3) 行事や教室等スポーツプログラムの提供とスポーツボランティアの育成
 - (4) スポーツ施設の充実と安全性の確保及び指定管理者制度の導入による維持管理の効率化
 - (5) 選手の育成等競技力の向上と応援団の活性化
 - (6) スポーツ技術、行事の企画等を行う指導者の養成
- 2 文化の振興 [文化力の向上と津山の魅力を発信]
 - (1) 芸術文化活動の推進
 - (2) 国民文化祭開催への対応
 - (3) 文化施設の効率的運営
 - (4) 文化団体の支援及び連携
 - (5) 郷土博物館・洋学資料館の充実
 - (6) 新洋学資料館建設事業の推進
- 3 生涯学習 [生涯学習によるひとづくり、まちづくり]
 - (1) 生涯学習推進組織の活性化
 - (2) 公民館の整備
 - (3) 学校支援ボランティア登録の推進
 - (4) 地域課題への取り組み強化
 - (5) 子育て・家庭教育支援や放課後子どもプランの推進
 - (6) 生涯学習リクエスト大学の実施
 - (7) 青年活動の推進
 - (8) 図書館サービスの向上
 - (9) 社会教育における人権教育の推進

◇平成21年度（2009年度）

＜教育委員会事務局＞

1 教育行政の推進と教育環境の整備・充実

〔開かれた教育行政の推進と豊かな環境・確かな学校づくり〕（教育総務課）

- (1) 教育行政の推進
- (2) 広報・公聴活動の充実
- (3) 学校施設の耐震・改修の推進
- (4) 学校施設の整備による安全・安心の確保
- (5) 学校図書館の整備・充実
- (6) 学校情報環境の整備充実

2 学校教育の充実

〔「生きる力」を育てる授業づくり、学校づくり〕（学校教育課）

- (1) 学力向上へ向けての授業改善の推進と教育内容の充実
- (2) 心の教育の充実と体験活動を重視した教育の推進
- (3) 生徒指導の充実
- (4) 体力づくりの推進と健康教育の充実及び安全確保
- (5) 特別支援教育の推進と充実
- (6) 学校の活性化と開かれた学校づくりの推進
- (7) 人権教育の推進
- (8) 幼稚園における保育活動の充実と小学校との連携

3 学校給食の充実と食育の推進

〔健やかな体をつくる学校給食、食教育〕（学校教育課）

- (1) よりよい学校給食の実施
- (2) 積極的な食育の推進

4 青少年健全育成

〔子どもは地域で育つ、おとなは地域で手をつなぐ〕（健全育成課）

- (1) 関係機関との連携強化
- (2) 不審者への対応
- (3) 相談機能の充実
- (4) 津山市教育相談センター鶴山塾の機能強化
- (5) ふるさと津山を愛する親子育成支援事業の実施

5 文化財の保存・活用

〔文化財を生かした豊かな地域づくり〕（文化財課）

- (1) 史跡の保存整備及び公有化の推進
- (2) 指定文化財の保存修理・保存管理
- (3) 文化財の調査研究と文化財指定の推進
- (4) 文化財収蔵・展示施設の運営・管理

＜補助執行を行う市長部局の部署＞

6 スポーツ・武道の振興

〔Have Fun（楽しく親しむ）つやまスポーツライフ〕（スポーツ課）

- (1) スポーツ振興基本計画の実践
- (2) スポーツ団体の育成と活性化
- (3) スポーツプログラムの提供
- (4) スポーツ施設の充実
- (5) 競技力の向上
- (6) 指導者の養成

- (7)健康づくりとの連携
- (8)武道の振興
- 7 幼児(幼稚園)の教育
 - [心身を育てる幼児教育](こども企画課・こども課)
 - (1)生きる力の基礎を培う保育活動の充実
 - (2)地域の子育て支援センターとして開かれた幼稚園づくりの推進
 - (3)今後の幼児教育における幼稚園のあり方についての検討
- 8 文化の振興
 - [人と社会を豊かにする文化の時代](文化振興課)
 - (1)芸術文化活動の推進
 - (2)文化団体の支援と連携
 - (3)国民文化祭の推進
 - (4)文化施設の効果的運営
 - (5)新津山洋学資料館の開館
 - (6)津山郷土博物館の充実
- 9 生涯学習・社会教育
 - [生涯学習による人づくり、まちづくり](生涯学習課)
 - (1)生涯学習活動の推進
 - (2)公民館等の整備
 - (3)学社連携・融合の推進
 - (4)地域課題への取組強化
 - (5)子育て・家庭教育支援や子ども読書活動、放課後子どもプランの推進
 - (6)図書館サービスの向上

◇平成22年度(2010年度)

＜教育委員会事務局＞

- 1 教育行政の推進と教育環境の整備・充実 **【教育総務課】**
 - [開かれた教育行政の推進と豊かな環境・確かな学校づくり]
 - ①開かれた教育行政の推進
 - ②広報・公聴活動の充実
 - ③学校施設の耐震・改修の推進
 - ④学校施設の整備による安全・安心の確保
 - ⑤学校図書館の整備・充実
 - ⑥学校情報環境の整備充実
 - ⑦津山市教育委員会発足 60 周年に向けての準備
- 2 学校教育 **【学校教育課】**
 - [生きる力]を育てる授業づくり、学校づくり]
 - ①学力向上へ向けての授業改善の推進と教育内容の充実
 - ②心の教育の充実と体験活動を重視した教育の推進
 - ③生徒指導の充実
 - ④体力づくりの推進と健康教育の充実及び安全確保
 - ⑤特別支援教育の推進と充実
 - ⑥学校の活性化と開かれた学校づくりの推進
 - ⑦人権教育の推進
 - ⑧幼稚園における保育活動の充実と小学校との連携

- 3 学校給食の充実と食育の推進 **【学校給食課】**
[笑顔あふれるおいしい給食・食べる力をはぐくむ食教育]
①安全で安心なおいしい学校給食の提供
②食べる力を身につけるための食育の推進
③健全で効率的な給食運営の推進
- 4 青少年健全育成 **【健全育成課】**
[子どもは地域で育つ、おとなは地域で手をつなぐ]
①関係機関との連携強化
②不審者への対応
③相談機能の充実
④津山市教育相談センター鶴山塾の機能強化
⑤ふるさと津山を愛する親子育成支援事業の実施
- 5 文化財の保存・活用 **【文化財課】**
[文化財を生かした豊かな地域づくり]
①史跡の保存整備及び公有化の推進
②指定文化財の保存修理・保存管理
③文化財の調査研究と文化財指定の推進
④文化財収蔵・展示施設の運営・管理
- ＜補助執行を行なう市長部局の部署＞
- 6 スポーツ・武道の振興 **【スポーツ課】**
[Have Fun (たのしく親しむ) つやまスポーツライフ]
①スポーツ振興基本計画の実践
②スポーツ団体の育成と活性化
③スポーツプログラムの提供
④スポーツ施設の充実
⑤競技力の向上
⑥指導者の養成
⑦健康づくりとの連携
⑧武道の振興
- 7 幼児（幼稚園）教育 **【こども企画課・こども課】**
[心身を育てる幼児教育]
①生きる力の基礎を培う保育活動の充実
②地域の子育て支援センターとして開かれた幼稚園づくりの推進
③公立幼稚園将来計画の推進
- 8 文化の振興 **【文化振興課】**
[心豊かで活力ある市民生活の実現]
①芸術文化活動の推進
②文化団体の支援と連携
③国民文化祭の開催
④文化ホールの活用と整備
⑤津山洋学資料館の活用
⑥津山郷土博物館の充実
- 9 生涯学習による人づくり・まちづくり **【生涯学習課】**
[学ぶ・活かす・創る 生涯学習が拓く キラめくまち津山]

- ①生涯学習活動の推進
- ②公民館の整備と公民館活動の推進
- ③学社連携・融合の推進
- ④地域課題への取組強化
- ⑤子育て・家庭教育支援や子ども読書活動、放課後子どもプランの推進
- ⑥図書館サービスの向上

◇平成23年度(2011年度)

＜教育委員会事務局＞

- 1 教育行政の総合的な推進 【教育総務課】
 - 〔開かれた教育行政の推進〕
 - ①津山教育振興基本計画の策定
 - ②開かれた教育行政の推進
 - ③広報・公聴活動の充実
 - ④教育委員会事務局内の総合調整機能の充実
 - ⑤学校情報環境の整備・充実
- 2 教育環境の整備・充実 【学校施設課】
 - 〔安全・安心な教育環境の整備〕
 - ①学校施設の耐震化・老朽化施設改修の推進
 - ②学校施設の整備による安全・安心の確保
- 3 学校教育の充実 【学校教育課】
 - 〔「生きる力」を育てる授業づくり、学校づくり〕
 - ①落ち着いた学習環境づくりの推進
 - ②学力向上へ向けての授業改善の推進と教育内容の充実
 - ③体験活動を重視した教育と郷土学習の充実
 - ④心の教育の推進と道德教育・人権教育の充実
 - ⑤生徒指導の充実と規範意識の醸成
 - ⑥特別支援教育の推進と充実
 - ⑦体力づくりの推進と健康教育の充実及び安全確保
 - ⑧学校の活性化と開かれた学校づくりの推進
 - ⑨幼稚園における保育活動の充実と小学校との連携
- 4 学校給食の充実と食育の推進 【保健給食課】
 - 〔笑顔あふれるおいしい給食・食べる力をはぐくむ食教育〕
 - ①よりよい学校給食づくりのための整備計画策定
 - ②安全で安心なおいしい学校給食の提供
 - ③食べる力を身につけるための食育の推進
 - ④健全な給食運営の推進
- 5 生涯学習による人づくり・まちづくり 【生涯学習課】
 - 〔学ぶ・活かす・創る 生涯学習が拓く キラめくまち津山〕
 - ①生涯学習活動の推進
 - ②公民館の整備と公民館活動の推進
 - ③学社連携・融合の推進
 - ④地域課題への取り組み強化
 - ⑤子育て・家庭教育支援や子ども読書活動、放課後子どもプランの推進
 - ⑥青少年健全育成の推進と相談・支援体制の充実

6 その一冊から、世界が広がる

【図書館】

〔地域社会の情報センター・学習拠点〕

- ①幅広い知識・情報の提供
- ②学校図書館との連携と支援
- ③地域支援サービスの充実
- ④子育て支援の推進

7 文化の振興

【文化課】

〔豊かな心の育成と活力ある郷土づくり〕

- ①芸術文化活動の推進
- ②文化団体の支援と連携
- ③文化ホールの活用と整備
- ④津山郷土博物館の充実
- ⑤津山洋学資料館の活用
- ⑥史跡の保存整備及び公有化
- ⑦指定文化財の保存と管理
- ⑧文化財の調査研究と文化財指定
- ⑨文化財収蔵・展示施設の運営・管理

8 スポーツ・武道の振興

【スポーツ課】

〔Have Fun（たのしく親しむ） つやまスポーツライフ〕

- ①スポーツ振興基本計画に基づく取組の推進
- ②スポーツ団体の育成とスポーツコミュニティの形成
- ③スポーツプログラムの提供
- ④スポーツ施設の整備充実
- ⑤競技力の向上
- ⑥指導者の育成
- ⑦健康スポーツの推進
- ⑧武道の振興

＜補助執行を行う市長部局の部署＞

9 幼児（幼稚園）教育

【こども課】

〔心身を育てる幼児教育〕

- ①生きる力の基礎を培う保育活動の充実と小学校との連携
- ②地域の子育て支援センターとして開かれた幼稚園づくりの推進
- ③公立幼稚園将来計画に基づく組織の推進

4. 津山市教育委員会 教育略年表

昭和 20 年(1945 年)～平成 24 年(2012 年)3 月

年	津山市関係事項	全国・岡山県関係事項
昭和 20 年 (1945 年)	8・15 正午、戦争終結の詔書を放送、太平洋戦争終結	3・06 「国民勤労動員令」公布 5・22 「戦時教育令」公布 6・29 岡山市空襲を受け市街地の大部分を消失 8・06 原爆広島に投下 8・09 原爆長崎に投下 8・10 ポツダム宣言受諾決定 9・15 文部省「新日本建設の教育方針」発表 9・20 文部省、国定教科書から戦時教材削除を指令（教科書の墨塗り作業始まる） 10・3 文部省、柔剣道・教練の全面廃止を通達 10・5 「戦時教育令」廃止 12・15 GHQ、神道教育の学校教育からの排除を指令 12・30 GHQ、「修身、日本歴史及び地理停止に関する件」指令
昭和 21 年 (1946 年)	4・ 津山市立中央幼稚園と改称 （明治 38 年 私立幼稚園設立(田町、江口氏宅・保母宮川春野)、明治 41 年 津山町学務委員会に経営移管・園長 植月皓、明治 42 年 戸川町妙願寺に移転、明治 43 年 南新座宮田氏邸に移転、明治 44 年 現在位置高山氏の技芸学校跡に移転、昭和 6 年 園舎増改築、昭和 8 年市営移管、津山市幼稚園と改称）（→西幼稚園へ） 4・ 津山市立西幼稚園と改称＜1. 西幼稚園＞ （昭和 5 年 4 月 私立西幼稚園設立(安岡町、渡辺島治郎氏経営)、昭和 15 年 3 月市営移管、津山市立西幼稚園と改称） 4・ 津山東幼稚園と改称 ＜2. 東幼稚園＞ （昭和 17 年 7 月 私立津山東幼稚園設立） 11・26 平松俊太郎市長の退任(10 月 30 日)に伴い、和田義一が臨時市長代理に就任	1・01 天皇の人間宣言 2・17 新円の切替えや預金封鎖の実施 2・22 「国民学校令等戦時特例」廃止 2・23 中等学校令改正（中等学校 5 年制、高等学校および大学予科 3 年制復活） 4・10 新しい選挙法により総選挙が実施 4・18 津山市教員組合が結成 5・21 文部省、新教育指針 6・29 GHQ、地理授業再開許可 8・10 総理大臣の諮問機関・教育刷新委員会設置 10・9 文部省、男女共学実施について指示 10・12 GHQ、国史授業再開許可 11・3 「日本国憲法」公布
昭和 22 年 (1947 年)	2・09 学校給食の開始 ・ 岡山放送局津山分局創設 3・31 津山市立東中学校設立認可 ＜1. 津山東	2・05 文部省、新学制実施方針発表 3・20 文部省、「学習指導要領一般編(試案)」発表

	中学校、3. 北陵中学校＞ 3・31 津山市立西中学校設立許可 ＜5. 津山西中学校＞ 3・31 田邑村立西中学校田邑分校設立認可 ＜5. 津山西中学校＞ 3・31 津山市立南中学校設立認可 ＜4. 鶴山中学校、5. 津山西中学校＞ 3・31 津山市立北中学校設立認可 ＜4. 鶴山中学校、3. 北陵中学校＞ 3・31 高田村外 2 か村組合立共和中学校設立認可 ＜3. 北陵中学校＞ 3・31 高田村外 3 か村組合立鴨川中学校設立認可 ＜1. 津山東中学校＞ 3・31 河辺村、大崎村組合立国分寺中学校 ＜1. 津山東中学校＞ 4・01 新学制により、新制の中学校を開校(東・西・南・北中学校)(西中学校田邑分校、共和、鴨川、国分寺中学校) 国民学校を小学校と改称する。 小・中学校男女共学 4・01 津山市立第二小学校と改称 ＜1. 東小学校＞ (明治 7 年 4 月正器、日新・時習小学開校、同年 6 月開智小学開校、明治 20 年 4 月統合し尋常津山小学校、明治 26 年 7 月津山尋常小学校と改称、明治 41 年 4 月 津山女子尋常高等小学校と改称、昭和 4 年 2 月津山市津山女子尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月津山市第二国民学校と改称) (→東小学校) 4・01 津山市立中道小学校と改称 ＜1. 東小学校＞ (明治 7 年 8 月有章小学開校、明治 8 年 6 月日就小学開校、明治 17 年 3 月統合し有就小学校と改称、明治 18 年 4 月中道小学校と改称、明治 20 年 4 月尋常中道小学校と改称、明治 25 年 4 月中道尋常小学校と改称、明治 41 年 4 月中道尋常高等小学校、昭和 16 年 2 月津山市中道尋常高等小学校、昭和 16 年 4 月津山市中道国民学校と改称) (→東小学校) 4・01 津山市立第三小学校と改称 ＜2. 西小学	3・31 「教育基本法」「学校教育法」公布 4・01 六・三制による(新制)小学校・中学校発足 ・ 学校教育法が制定され、学校教育の一環として幼稚園を位置付 4・05 第一回知事・市町村長選挙 4・17 「地方自治法」公布 4・20 第一回参議院選挙 4・30 地方議会選挙 5・03 「日本国憲法」施行 6・08 日本教職員組合結成 7・01 臨時国勢調査(津山市人口 51,571 人)。 8・02 文部省「あたらしい憲法のはなし」発行 9・11 社会科授業開始
--	--	--

	校＞ (大正 12 年 4 月津山西尋常小学校開校、昭和 16 年 4 月津山市第三国民学校と改称) (→西小学校)	
4・01	津山市立福岡小学校と改称 ＜3. 南小学校＞ (明治 8 年 10 月原智小学開校、明治 20 年 4 月尋常原智小学校と改称、明治 25 年 11 月福岡尋常小学校と改称、明治 44 年 4 月福岡尋常高等小学校と改称、昭和 4 年 2 月津山市福岡尋常高等小学校、昭和 16 年 4 月津山市福岡国民学校と改称)(→南小学校)	
4・01	津山市立第一小学校と改称 ＜4. 北小学校＞ (明治 7 年 5 月鶴山小学開校、明治 14 年 7 月鶴山小学校、明治 20 年 4 月高等鶴山小学校と改称、明治 34 年 4 月津山高等小学校と改称、明治 41 年 4 月津山男子尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月津山市第一国民学校と改称)(→北小学校)	
4・01	津山市立苫田小学校と改称 ＜4. 北小学校＞ (明治 7 年 8 月修名小学開校、明治 20 年 4 月尋常修名小学校と改称、明治 41 年 4 月苫田尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月津山市苫田国民学校と改称)(→北小学校)	
4・01	津山市立林田小学校と改称 ＜5. 林田小学校＞ (明治 7 年 8 月玉琳小学開校、明治 14 年 4 月玉琳小学校と改称、明治 24 年 4 月尋常玉琳小学校と改称、明治 26 年 4 月玉琳尋常小学校と改称、明治 34 年 10 月林田尋常高等小学校を開設、明治 40 年 5 月林田女子実業補習学校を附設、大正 8 年 3 月林田実業補習学校男子部を開設、昭和 4 年 2 月津山市林田尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月津山市林田国民学校と改称)(→林田小学校)	
4・01	津山市立二宮小学校と改称 ＜8. 向陽小学校＞	

	(明治 7 年 9 月二宮小学開校、明治 20 年 5 月岸上小学と統合、尋常双松小学校創立、明治 21 年 4 月高等双松小学校創立(二宮・院庄組合立)、明治 26 年 10 月双松尋常高等小学校と改称、大正 11 年 4 月二宮尋常高等小学校として独立、昭和 4 年 2 月津山市二宮尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月津山市二宮国民学校と改称) (→向陽小学校)	
4・01	田邑村立田邑小学校と改称 <8. 向陽小学校> (明治 7 年 7 月田邑小学開校、明治 20 年 4 月尋常田邑小学校と改称、明治 26 年 7 月田邑尋常小学校と改称、昭和 16 年 4 月田邑国民学校と改称) (→向陽小学校)	
4・01	津山市立院庄小学校と改称 <9. 院庄小学校> (明治 7 年 9 月岸上小学開校、明治 20 年 5 月尋常双松小学校設立(岸上小と二宮小統合)、明治 26 年 10 月双松尋常高等小学校と改称、大正 11 年 4 月院庄尋常高等小学校設立、昭和 16 年 4 月津山市院庄国民学校と改称)	
4・01	津山市立佐良山小学校と改称 <10. 佐良山小学校> (明治 8 年 6 月明説小学開校、明治 12 年明説小学校と改称、明治 9 年 4 月明道小学開校、明治 23 年両校を統合し佐良山尋常小学校と改称、明治 36 年 4 月佐良山尋常高等小学校と改称、大正 8 年 4 月佐良山実業補習学校を併設、昭和 16 年 3 月津山市佐良山尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月津山市佐良山国民学校と改称)	
4・01	一宮村立一宮小学校と改称 <11. 一宮小学校> (明治 7 年 9 月東田辺に精勤小学開校、明治 13 年 3 月一宮簡易科小学校と改称、明治 20 年 4 月尋常一宮小学校と改称、明治 23 年 4 月一宮尋常小学校と改称、明治 42 年 4 月一宮尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月一宮国民学校と改称) (→一宮小学校)	

	4・01 東一宮村立東一宮小学校と改称 <11. 一宮小学校> (明治7年8月観音寺跡に知新小学開校、明治7年8月山方に鳥羽小学開校、明治10年4月鳥羽小学を知新小学に統合、明治20年4月尋常知新小学校と改称、明治26年6月東一宮尋常小学校と改称、明治41年4月東一宮尋常高等小学校と改称、昭和16年4月東一宮国民学校と改称)(→一宮小学校) 4・01 高田村立高田小学校と改称 <12. 高田小学校> (明治7年1月下横野に弘明小学開校、明治8年1月上横野に清水小学開校、明治20年12月清水小学を弘明小学に統合し尋常弘明小学校と改称、明治8年1月大篠に育英小学開校、明治20年12月尋常育英小学校と改称、明治23年4月尋常高田小学校と改称、明治26年7月高田尋常小学校と改称、明治41年4月高田尋常高等小学校と改称、昭和16年4月高田国民学校と改称) 4・01 神庭村・滝尾村組合立清泉小学校と改称 <13. 清泉小学校> (明治11年春・静修小学開校、明治12年春・綾部小学校と改称、明治20年尋常綾部小学校と改称、明治23年尋常神庭小学校と改称。明治9年新野小学開校、明治12年5月新野小学支校設立、明治18年分離独立し精業小学校設立、明治20年尋常精業小学校と改称。明治26年9月尋常神庭小学校と尋常精業小学校が統合し神庭村・滝尾村組合立清泉尋常小学校設立、明治42年5月組合立清泉尋常高等小学校と改称、昭和16年4月組合立清泉国民学校と改称) 4・01 高倉村立高倉小学校と改称 <14. 高倉小学校> (明治9年10月寄松小学開校、明治20年4月尋常高倉小学校と改称、明治23年4月高倉尋常小学校と改称、明治35年4月当地に新築移転、明治41年4月高倉尋常	
--	---	--

	高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月高倉国民学校と改称) 4・01 高野村立高野小学校と改称 <15. 高野小学校> (明治 7 年 11 月山崎小学開校、明治 7 年 12 月高野小学開校、明治 9 年高野小学へ山崎小学統合、明治 20 年 10 月尋常高野小学校と改称、明治 26 年 4 月高野尋常小学校と改称、明治 30 年 1 月現住所に校舎新築、明治 41 年 4 月高野尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月高野国民学校と改称) 4・01 神庭村立成名小学校と改称 <16. 成名小学校> (明治 10 年 9 月成名小学開校、明治 19 年 5 月尋常成名小学校と改称、明治 23 年 4 月高野尋常小学校支校と統合改称、明治 27 年 2 月組合立成名尋常小学校と改称、明治 42 年 9 月高野村立成名尋常小学校と改称し現位置に新築移転、昭和 12 年 4 月神庭村立成名尋常小学校と改称、昭和 16 年 4 月神庭村立成名国民学校と改称) 4・01 河辺村立河辺小学校と改称 <17. 河辺小学校> (明治 7 年 10 月教育小学開校、明治 20 年 4 月尋常教育小学校と改称、明治 23 年 1 月河辺尋常小学校と改称、明治 34 年 4 月河辺尋常高等小学校と改称、昭和 1 年 12 月現位置に新築移転、昭和 16 年 4 月河辺国民学校と改称) 4・01 大崎村立大崎小学校と改称 <18. 大崎小学校> (明治 7 年 4 月躬行小学開校、明治 20 年尋常躬行小学校と改称、明治 26 年 2 月大崎尋常小学校と改称、明治 34 年 12 月現位置に新築移転、明治 41 年 4 月大崎尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月大崎国民学校と改称) 4・01 広野村立広野小学校と改称 <19. 広野小学校> (明治 7 年 9 月明知小学開校、明治 14 年 8 月現位置に新築移転、明治 20 年 4 月尋常明知小学校と改称、明治 28 年 4 月明知	
--	--	--

	尋常小学校と改称、明治 36 年 10 月広野尋常小学校と改称、明治 42 年 2 月広野尋常高等小学校と改称、昭和 16 年 4 月広野国民学校と改称) 4・05 和田義一 第 8 代市長に就任 5・01 津山市立福南小学校独立開校 <3. 南小学校> (明治 11 年 1 月轟名小学開校、明治 20 年 4 月尋常轟名小学校と改称、明治 26 年 7 月轟名尋常小学校と改称、(押測分教場へ転校)、昭和 5 年 4 月津山市福岡尋常高等小学校・押測分教場開校、昭和 16 年 4 月津山市福岡国民学校・押測分教場と改称)(→南小学校)	
昭和 23 年 (1948 年)	4・ 津山市体育協会が誕生 9・15 津山西中学校校舎新築 9・01 国分寺中学校校舎新築 9・19 鴨川中学校第 2 校舎新築 9・ 津山児童相談所が開設 10・11 鴨川中学校第 3 校舎建築	3・04 岡山県 P T A 連合会発足 4・01 新制高等学校発足 ・ 文部省「保育要領」刊行 4・07 中学校の就学義務並びに盲学校及び聾学校の就学義務及び設置義務に関する政令公布 7・10 教科書の発行に関する臨時処置法公布 7・15 「教育委員会法」「少年法」公布 8・23 岡山県教育研修所創設 10・5 第 1 回岡山県教育委員選挙 11・1 教育委員会制度発足(都道府県、5 大市及び任意設置の市町村)、岡山県教育委員会発足 横山正人 県教育長に就任。 事務局は 7 課 1 室、出先機関として 16 の教育事務所を設置
昭和 24 年 (1949 年)	4・01 鴨川中学校第 1 校舎建築 4・01 成人式開催(毎年 1 月開催) 4・01 津山市立北中学校を津山中学校と改称、校舎新築 4・ 私立わかば園が開設 7・12 共和中学校校舎新築 ・ 公民館新築(元公会堂跡)	1・12 教育公務員特例法公布 3・31 高畑浅次郎 県教育長に就任 3・31 岡山県視聴覚ライブラリー設置 5・18 学校教育法を改正(短期大学成立) 5・31 「文部省設置法」「教育職員免許法」「教育職員免許法施行令」公布 5・31 「国立学校設置法」公布(新制国立大学発足) 6・01 県教育委員会事務局機構改革(5 課) 6・01 国立新制大学設置。岡山大学発足 6・10 社会教育法公布

		8・25 文部省 中学校・高等学校の「生徒指導要録」を制定 9・10 教育時報創刊 11・3 湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞
昭和 25 年 (1950 年)	4・10 津山市民の歌発表会を実施 11・3 津山文化章制定、第一回授与式を実施 11・11 佐良山古墳群の調査を開始 12・24 市立津山郷土館設置条例を制定	1・01 岡山県学校給食会設立（昭和 32.10.1 財団法人に改組） 1・31 初めて岡山県社会教育委員を委嘱 4・30 図書館法公布 5・13 岡山県学校図書館協議会発足 5・19 教科用図書検定調査審議会令制定 5・30 「文化財保護法」公布 11・10 第 2 回岡山県教育委員選挙 12・13 地方公務員法公布
昭和 26 年 (1951 年)	4・01 東一宮・一宮両村合併し、一宮村となる。 4・01 東一宮・一宮両小学校を統合し、一宮村立一宮小学校開校 4・01 東中学校第 1 期建築 4・23 中島琢之 第 9 代市長に就任 10・ 津山福祉事務所を開設 11・3 津山郷土館を開設（第 35 代内閣総理大臣平沼騏一郎旧別邸）	2・01 岡山県教育委員会事務局を岡山県教育庁と呼称（5 課 1 室） 4・01 作陽短期大学・美作短期大学開校 5・05 児童憲章制定 7・01 文部省「学習指導要領一般編」改訂 9・08 対日平和条約（サンフランシスコ講和条約） 11・17 岡山県図書館協会初会式 12・1 博物館法公布
昭和 27 年 (1952 年)	6・01 東中学校第 2 期建築 3・01 津山市立西中学校田邑分校が、田邑村立田邑中学校独立 7・04 地方教育委員会の全面实施 9・01 津山市文化協会が発足 9・01 津山中学校を北中学校と改称 9・20 南中学校校舎新築 10・5 第 1 回津山市教育委員選挙 青木勘（～30.1.）、柴田治（～31.9.30）、古峪草平（～29.12）、小林利一（～31.9.30）が市教育委員に当選（委員会は市議会選出委員江見正（～31.9.30）、川端克己（～30.4.）を加えて 6 人で 11 月 1 日発足） 11・1 津山市教育委員会発足 椋代誠一 初代教育長に就任（～29.10.31） 11・21 沼弥生住居跡の調査を開始	4・28 平和条約発効 6・06 中央教育審議会設置（教育刷新審議会廃止） 8・08 「義務教育費国庫負担法」公布 10・5 第 3 回岡山県教育委員選挙 10・14 日本 P T A 全国協議会結成 11・1 岡山県市町村教育委員会発足（単独 275、一部事務組合 20、学校組合 98、計 393）
昭和 28 年 (1953 年)	4・01 私立東幼稚園を津山市立東幼稚園と改称 5・01 鶴山球技場を設置 11・3 神戸公会堂に作楽丘幼稚園を開園＜5.院庄幼稚園＞	2・01 NHK テレビ本放送開始 4・01 尾坂鶴夫 県教育長に就任 5・01 16 教育事務所を 10 教育事務所に統合 8・08 「学校図書館法」「理科教育振興法」公布

		8・05 「学校教育法」改正公布(教科書検定権者は文部大臣となる) 8・27 「公立学校施設費国庫負担法」「危険校舎改築促進臨時措置法」公布
昭和 29 年 (1954 年)	1・ 大崎村立大崎幼稚園設立<4.大崎幼稚園> 2・ 南中学校 中校舎新築 3・ 南中学校 北校舎新築 4・01 福岡小学校を廃止し、南小学校を開校 4・ 私立鶴山幼稚園設立<6.鶴山幼稚園> 7・01 田邑村、一宮村、高田村、神庭村、高倉村、高野村、河辺村、大崎村、広野村、滝尾村の 10 箇村を津山市へ編入(人口 80,616 人)。それぞれの教育委員会を津山市教育委員会に吸収統合 7・01 教育委員会事務局を庶務、学校教育、社会教育の 3 課設置 7・01 津山市立田邑小学校と改称 7・01 津山市立一宮小学校と改称 7・01 津山市立高田小学校と改称 7・01 津山市立清泉小学校と改称 7・01 津山市立高倉小学校と改称 7・01 津山市立高野小学校と改称 7・01 津山市立成名小学校と改称 7・01 津山市立河辺小学校と改称 7・01 津山市立大崎小学校と改称 7・01 津山市立広野小学校と改称 7・01 津山市立田邑中学校と改称 7・01 津山市立共和中学校と改称 7・01 津山市立鴨川中学校と改称 7・01 津山市立国分寺中学校と改称 7・01 白鷺高等学校(定時制)と津山高等学校中山分校(定時制)を統合、津山市立高等学校(定時制)(現津山東高等学校)開校 7・ 一宮小学校統合校舎竣工 11・1 下山練 第 2 代教育長に就任(~31.9.30) 12・13 岸本昌 第 10 代市長に就任 12・ 頃安義家 教育委員に就任(当選、~31.9.30))	4・30 文部省、社会科改訂学習指導要領の大綱発表 6・01 「へき地教育振興法」「盲学校、聾学校及び養護学校への就学奨励に関する法律」公布 6・03 学校給食法公布 ・「幼稚園教育要領案」発表 ・幼稚園のための指導書、音楽リズム編刊行。
昭和 30 年 (1955 年)	4・01 勝北町楯を津山市に編入 4・ 滝尾幼児園設立<10.清泉幼稚園> 4・ 河辺幼児園設立<3.河辺幼稚園>	2・11 文部省 小・中学校社会科改訂を発表 4・01 岡山県立栄養短期大学開校 8・05 「女子教育職員の産前産後の休暇中における

	4・30 山本方之助 教育委員に就任（当選、～31.9.31） 4・ 難波重勇 教育委員に就任（議会選出、～30.8.31） 6・01 勝央町堂尾・池ヶ原を津山市に編入 7・05 津山市文化財保護条例、同保護委員会規則を制定 7・ 津山市立動物園を鶴山公園内に開設 8・31 川端克己 教育委員に就任（議会選出、～31.9.30） 9・04 井上義夫 第11代市長に就任 ・ 「広報つやま」第1号を発刊 ・ 沼住居跡を復元	る学校教育の正常な実施の確保に関する法律」公布 8・08 日本学校給食会法公布
昭和 31 年 (1956 年)	4・ 河辺幼稚園が津山市立河辺幼稚園と改称 4・ 綾部幼稚園設立＜10.清泉幼稚園＞ 4・ 村立大崎幼稚園が津山市合併により津山市立大崎幼稚園と改称 4・30 東中学校第3期建築 5・ 高田幼稚園設立＜9.高田幼稚園＞ 6・05 井上市長病気のため辞表提出、7日死去、10日市葬の実施 6・20 第一校の特殊学級が開設 7・23 額田雄治郎 第12代市長に就任 9・ 教育委員総辞職 9・23 新教育委員5名任命 10・1 地教行法施行に伴い、任命制教育委員会発足 大山伊都子(1年委員、～36.9.30)、垣谷猛(2年委員、～37.9.30)、萬代嘉三(3年委員、～34.9.30)、宮本祥郎(4年委員、～37.3.31)、下山練(4年委員、～44.4.1)の5名が教育委員就任 11・1 下山練 第2代教育長に引き続き就任(～44.4.1) 11・3 市文化功労者 杉山、中尾、山本、清田の4氏表彰 ・ 小沼敬三郎、中島琢之を名誉市民に推挙	3・30 「就学困難な児童及び生徒に係わる就学奨励についての国の援助に関する法律」公布 ・ 文部省「幼稚園教育要領」刊行 6・01 教育庁機構改組（5課）。教育事務所を4か所とし、専任所長を配置 6・14 「公立養護学校整備特別措置法」公布 6・30 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（地教行法）公布 9・26 県 新教育委員6名任命 9・28 文部省、全国抽出学力調査を初めて実施 10・11 井上陸太郎 県教育長に就任 12・13 文部省「幼稚園設置基準」制定 12・18 国際連合総会 日本の加盟承認
昭和 32 年 (1957 年)	1・08 津山市立高等学校が林田の新校舎に移転 4・ 作楽ヶ丘幼稚園が津山市立院庄幼稚園と改称 6・ 成名幼稚園開設＜11.成名幼稚園＞	1・25 全国市町村教育委員会連合会結成 1・29 南極観測隊オングル島上陸(昭和基地) 3・19 岡山県庁舎、岡山市内山下に新築落成（教育庁7月に8階に設置）

	6・2 津山市観光協会設立総会開催	5・20 「盲学校、聾学校及び養護学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律」公布 7・09 岡山県総合文化センター設置 8・13 文部省 勤務評定実施通達 10・1 (財)岡山県学校給食会設立 10・4 ソ連人工衛星スプートニク打ち上げ成功
昭和 33 年 (1958 年)	1・13 世界連邦平和都市宣言 2・ 市教委 爆発事故続発に危険玩具禁止の注意を喚起 3・31 津山市立高等学校の中山・白鷺校舎を廃止 ・ 市庁舎新館が落成 5・20 市役所分庁舎完成 10・20 津山市制 30 周年記念式を北中学校で挙行、同夜全市に提灯行列	1・31 米人工衛星打ち上げ成功 4・10 「学校保険法」公布 5・01 「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」公布 5・06 県立学校職員の勤務成績の評定に関する規程制定(岡山県) 6・01 (財)岡山県学校安全会設立(昭和 61.3 日本体育・学校保健センター岡山県支部に改称) 6・30 岡山県小学校体育連盟設立 8・28 文部省 小・中学校学習指導要領道徳編告示 10・1 文部省 小・中学校学習指導要領告示 10・1 教員の勤務評定実施 11・3 岡山県教育委員会発足 10 周年記念式
昭和 34 年 (1959 年)	3・26 名誉市民 森本慶三、杉山宇三郎 4・01 津山市立田邑中学校を津山市立西中学校に統合 4・ 田邑幼稚園開設<7.田邑幼稚園> 7・03 美作地区教育委員研修会が津山高校山下校舎で開催 11・3 津山市 春名藤平、荻田与禄を表彰 12・25 飯田洋二 教育委員就任(~38.12.24)	4・01 岡山県へき地教育研究連盟設立 4・30 社会教育法の一部改正(市町村に社会教育主事を必置、社会教育への補助禁止規定の廃止等) 10・ 岡山県教育研修所への長期研修員制度導入 10・7 野崎正衛 県教育長に就任 12・17 「日本学校安全会法」公布
昭和 35 年 (1960 年)	1・27 第 3 回県下学校給食研究協議大会が南小学校で開催 1・27 市小学校統合第 4, 第 5 試案追加発表 2・13 北中学校教室開き(県下一を誇る) ・ 幼稚園の教育年限が 1 年、2 年となる。 4・ 私立鶴山幼稚園が津山市立鶴山幼稚園と改称 7・01 一宮小学校体育館落成式 7・22 額田雄治郎 第 13 代市長に就任	・ 幼稚園教育指導書 言語編刊行 3・01 日本学校安全会発足 4・01 日本学校安全会岡山県支部発足 4・01 教頭に管理職手当支給 4・26 川上亀義 県教育長に就任 4・30 ソニー トランジスタテレビを初発売 9・10 カラーテレビ本放送開始 10・1 国勢調査(津山市人口 78,549 人) 11・5 第 1 回岡山県民主教育研究大会開催
昭和 36 年 (1961 年)	3・01 津山ひかり学園開園 4・ 津山市補導センターを開設	・ 幼稚園教育指導書 健康編、自然編刊行 4・01 県立養護学校開校(小学部)

	5・10 市営プール完成・プール開き 9・15 台風 18 号で吉井川氾濫し被害甚大 10・26 学力テスト実施(中学校 2・3 年生 5 教科) 11・6 市教委 関係地区の代表を招き学校統合の意見聴取 12・5 市教委 中央部学校統合案明示 北小(第一小と苫田校)、東小(第二小と中道校)審議会承認 12・25 定例市議会、学校統合案、原案通り決議(第一と苫田、第二と中道校)	4・01 小学校教育課程の改訂の実施 4・12 ソ連、ポストーク一号打ち上げに成功、人類初の有人宇宙飛行 5・01 教育庁機構改組(6 課) 6・16 スポーツ振興法公布 10・26 文部省 中学校 2・3 年生全員対象に 5 教科につき、初めて全国一斉学力調査を実施
昭和 37 年 (1962 年)	3・12 安全都市宣言 4・ 田邑幼稚園が津山市立田邑幼稚園と改称 4・01 ひかり学園内に特殊学級設置 4・01 江原滋 教育委員就任(~39.9.30) 6・26 市議会で第一校統合めぐる論議に焦点し られる。統合移築は議会の決議を尊重。 7・07 木村もと子 教育委員に就任(~41.6.30) 7・07 市議会 学校統合の議決を臨時議会に持ち込み全議案を議決。校名、8 月 1 日より北、東、西小学校に変更 8・01 津山第一小学校と津山市立苫田小学校を統合し、津山市立北小学校発足 8・01 津山第二小学校と津山中道小学校を統合し、津山市立東小学校発足 8・01 津山市立第三小学校の名称を津山市立西小学校と改称 津山市立の東・西・南・北小学校が実現 8・16 吉井川二宮の浅瀬で大きな骨の化石(ヒゲクジラ) 西中学校の生徒が発見 10・21 第 17 回国民体育大会秋季大会開催(津山市開催種目体操、サッカー、バレーボール競技) 12・17 吉井川の大型化石、正式名称「津山化石」と決定 12・25 西下止夫 教育委員就任(~49.12.24)	3・31 義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律公布 4・01 県立岡山養護学校に中学部を設置 4・01 小学校教育課程の改訂の実施 7・11 全国小・中学校一斉学力調査実施 9・16 第 17 回国体夏季大会・岡山県で開催 10・21 第 17 回国体秋季大会・岡山県で開催 11・7 学制 90 年式典を挙行
昭和 38 年 (1963 年)	4・01 教育委員会事務局機構を 3 課 6 係(庶務課 庶務係・管理係、学校教育課 学事係・指導係、社会教育課 社会教育係・体育係)とする 4・20 津山高専で開校式と入学式挙行 7・17 津山高専敷地内の住居跡、2,000 年前のた	・ 幼稚園教育振興計画発表 4・01 岡山県教育研修所に岡山県理科教育センター付置 4・01 国立津山工業高等専門学校開校 10・26 原子力発電試験運転開始 11・16 初の能研テスト実施

	て穴と3つの土器発掘 11・3 津山科学教育博物館開館 11・3 第1回津山音楽祭開催	12・21 公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律の一部改正（養護学校を同法適用範囲に加える、小学校及び中学校の1学級児童生徒数を最高45人とする等） 12・21 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律公布
昭和39年 (1964年)	3・28 上横野分校を高田小学校に統合 3・30 児島健 教育委員就任(～42.3.31) 4・ 佐良山幼稚園設立<8.佐良山幼稚園> 7・22 額田雄治郎 第14代市長に就任 ・ 北小学校統合校舎が竣工 12・26 真屋猪一郎 教育委員就任(～47.12.25) ・ 名誉市民 美土路昌一、谷口久吉、石田一郎、和田義一	・ 文部省「幼稚園教育要領」を改訂 4・01 岡山理科大学開校 10・1 東海道新幹線東京～新大阪間開通 10・10 東京オリンピック大会開催(24日閉会)
昭和40年 (1965年)	・ 東小学校統合校舎が竣工、開校記念式典を挙行 3・ 鶴山幼稚園新築 4・ 佐良山幼稚園が津山市立佐良山幼稚園と改称 6・ みのり学園誕生(二宮中仙の丘) ・ 南小学校の二期校舎建築始まる 12.25 津山文化センター竣工	1・11 中教審「期待される人間像」中間草案発表 4・01 岡山県青少年教育センター閑谷学校開所 4・01 岡山商科大学開校 10・1 国勢調査(津山市人口76,007人) 10・21 朝永振一郎ノーベル物理学賞受賞
昭和41年 (1966年)	1・11 文化センター開館 3・31 津山市立高等学校が県に移管され、県立津山東高等学校として開校 4・ 福南小学校を南小学校へ吸収統合 4・01 中央公民館を中道小学校跡に開設 11・20 南小学校校舎落成式挙行 12・22 那須修二 教育委員就任(～49.12.21) ・ 名誉市民 真栄城徳松(平良市長)	・ 文部省「幼稚園教育90周年記念式典」挙行。 4・01 作陽音楽大学開校 8・05 第4回日本ジャンボリーを日本原で開催、中央会場に3万人そろ(～8.9まで)
昭和42年 (1967年)	・ 名誉市民 清田寂担	1・13 「建国記念日の日について」通達(建国記念日の取り扱いは学習指導要領の定めるところによる) 2・11 初の建国記念の日 3・24 岡山県青少年保護育成条例公布 4・01 美作女子大学開校 5・01 中央隣保館を開館 ・ 津山保育園を新築
昭和43年 (1968年)	4・01 垂井寛一郎 教育委員就任(～51.3.31) ・ 高田保育園が津山市立高田幼稚園と改称	4・02 篠井孝夫 県教育長に就任 7・11 文部省 小学校学習指導要領告示

	4・07 常陸宮ご夫妻がご来津 7・22 生末敏夫 第15代市長に就任	10・17 川端康成ノーベル文学賞受賞 10・23 明治百年記念式典 11・1 県教育委員会発足20周年記念式
昭和44年 (1969年)	2・11 津山市制40周年記念式 2・15 市議会に向陽小学校新設決定 3・ 西小学校校舎改修、第二期工事完成 4・01 二宮小学校と田邑小学校が統合、津山市立向陽小学校と改称。二宮、田邑校舎により発足(明治7年4月田邑村立田邑小学創立、明治7年9月二宮村立二宮小学創立、明治20年5月二宮村・院庄村組合立双松小学校創立、大正11年4月二宮村立二宮小学校創立) ・ 滝尾幼稚園・綾部幼稚園を統合し津山市立清泉幼稚園開園 4・02 木村岩治 教育委員就任(~53.6.1) 4・02 木村岩治 第3代教育長就任(~53.6.1) 4・18 市制40周年記念式、木村毅氏に市文化章	4・14 文部省 中学校学習指導要領告示 7・10 同和対策事業特別措置法告示 7・20 米アポロ11号月面着陸成功
昭和45年 (1970年)	3・15 スポーツセンター野球場完成、球場開き 3・28 津山スポーツセンター野球場完成記念、巨人一阪急戦開催(25,000人入場) 4・01 津山科学教育歴史館開館式 4・ 成名幼稚園が津山市立成名幼稚園と改称 9・01 スポーツセンター・サッカー場完成、10月完工式 11・3 市文化章 土居源一、石名善積	3・14 大阪で万国博覧会開幕 4・01 川崎医科大学開校 4・24 過疎地域対策緊急措置法公布 5・06 著作権法公布(保護期間50年となる) 10・1 国勢調査(津山市人口76,368人) 11・1 岡山武道館開館
昭和46年 (1971年)	3・31 津山市立向陽小学校田邑校舎、本校へ移転廃校 4・01 津山市立向陽小学校実質統合、新築移転(二宮) 4・ なかよし幼稚園・さくら幼稚園を統合し津山市立二宮幼稚園を設立 嘱託園長、田邑幼稚園と兼任 4・ 津山市立成名幼稚園と改称 6・19 市体協会長に小野雄三氏 8・26 市民憲章を制定 10・19 市文化章 定久寿元、光井貞八 11・1 県教育功労賞 江見正、畦高義正、津山商校地域住民賞 高野生活学校他	1・20 学習指導要領社会科編の一部改訂により公害教育を重視 2・27 文部省 小・中学校学習指導要領の一部改正告示(公害教育方針の明確化) 3・13 文部省 盲学校、聾学校、養護学校小学部・中学部学習指導要領告示 4・01 小野啓三 県教育長に就任 4・01 県立誕生寺養護学校開校 4・01 小学校新教育課程の完全実施 6・17 沖縄返還協定調印 7・01 岡山県立博物館開館 12・1 岡山県海事研修所を廃止し、岡山県渋川青年の家とする
昭和47年 (1972年)	3・31 津山市史第一巻を発刊する。 4・03 森公入封370年祭開催	2・03 札幌オリンピック開幕 2・19 浅間山荘事件

	4・09 美作国府跡の発掘調査終了 4・15 市民憲章発表会（文化センター） 7・22 生末敏夫 第16代市長就任 9・22 津山市立中学校統合整備計画により7中学校を廃止し新たに4中学校を設置 10・10 スポーツ振興都市宣言を発表 11・1 津山市教育委員会発足20周年 11・3 市文化章 棟田博氏 12・26 武岡英夫 教育委員就任（～55.12.25）	3・26 高松塚古墳壁画発見 3・27 県立岡山聾学校、岡山市土田に移転 4・01 県教育庁機構改組（8課1室）、岡山県教育庁民主教育指導室発足 5・15 沖縄の施政権返還 6・16 理科教育振興法改正（算数・数学教育を振興の対象に加える） 9・09 学制発布百年記念行事開催 10・5 文部省 学制100年記念式典 12・3 岡山県教育塔完成
昭和48年 （1973年）	3・31 津山市史第三巻を発刊 ・ 専任園長が配置 本務専任・・・中央幼稚園・鶴山幼稚園 本務兼任・・・二宮幼稚園・田邑幼稚園 嘱託専任・・・東幼稚園 小学校と兼任・・・西幼稚園・河辺幼稚園・大崎幼稚園・院庄幼稚園・佐良山幼稚園 高田幼稚園・清泉幼稚園・成名幼稚園	4・01 岡山県教育センター開所（県教育研修所、県理科教育センターを統合） 5・17 学校保健法施行規則改正（定期健康診断の充実） 7・20 教育職員免許法改正（教員資格認定試験制度の創設等） 10・23 江崎玲於奈ノーベル物理学賞受賞 ・ 文部省、教育課程審議会発足
昭和49年 （1974年）	3・31 津山市史第五巻を発刊 4・ 東幼稚園新築 12・6 箕作邸国指定史跡に決定 12・25 保田英生 教育委員就任（～57.12.24） 12・25 清田寂圓 教育委員就任（～57.12.24）	2・25 学校教育の水準の維持向上のための義務教育諸学校の教育職員の人材確保に関する特別処置法公布 4・01 岡山県学校給食総合センター開所 5・27 教頭法制化法案成立 7・01 在宅心身障害児訪問指導員制度発足 9・01 岡山県教委 法制化された教頭発令 11・25 佐藤栄作ノーベル平和賞決定 12・21 中国縦貫自動車道美作～落合間開通 ・この年、高校進学率90%を超える（岡山県94・8%）
昭和50年 （1975年）	・ 津山市立幼稚園PTA連絡協議会が結成	7・01 文化財保護法改正（埋蔵文化財保護制度の整備等 10・1施行） 7・ 県立森林公園の開園式 7・11 「義務教育諸学校等の女子教育職員及び医療施設、社会福祉施設等の看護婦、保母等の育児休業に関する法律」公布 10・1 国勢調査（津山市人口79,907人） 10・15 文部省 小・中・高校に主任制度新設の方針発表 10・16 中国縦貫自動車道吹田～落合間開通
昭和51年 （1976年）	4・01 津山市立津山東中学校創設 ＜1. 津山東中学校＞	・ 「幼稚園教育百年記念式典」を挙（東京） 2・10 学校給食法施行規則改正 米飯給食を取

	(「津山市中学校統合整備計画」に基づき、鴨川・国分寺中学校と東中学校(林田区)の3校が統合) 4・01 津山市立北陵中学校創設 <3. 北陵中学校> (共和中学校と東中学校の一部と北中学校の一部とが統合) ・ 東苔田民族資料館が開館 ・ 東部運動公園を設置 4・01 産賀靖弘 教育委員就任(~63.3.31) 4・28 津山市の旧東中学校校舎1棟、木造2階建て1,100㎡が全焼 5・05 林田小学校給食室全焼 7・22 生末敏夫 第17代市長に就任 ・ 津山市立幼稚園PTA連絡協議会が国・県幼稚園PTA連絡協議会に加入 9・ 佐良山幼稚園新築 ・ 名誉市民 松田藤子	り入れる 2・24 岡山県文化財保護審議会の設置 3・01 主任制度化のための学校教育法施行規則一部改正実施 4・01 学校給食に米飯を導入(岡山県) 9・01 岡山県 主任制発足
昭和 52 年 (1977 年)	1・01 津山市史第二巻を発刊 1・08 岡山県津山総合体育館を開館 4・15 箕作元甫邸を修復開館	6・16 岡山県青少年保護育成条例公布 7・23 文部省 小・中学校学習指導要領告示(小学校は55年度、中学校は56年度から実施)、「君が代」を国歌と規程
昭和 53 年 (1978 年)	3・ 二宮幼稚園新築 3・19 津山洋学資料館開館 ・ 市立図書館開館 ・ 市立中央児童館設立 4・01 津山市立鶴山中学校創設 <4. 鶴山中学校> (主として北中学校と南中学校の2校が統合) 4・01 津山市立津山西中学校創設 <5. 津山西中学校> (西中学校と南中学校の一部が統合) 4・ 津山市中央公民館開設 ・ 佐良山幼稚園に専任園長(嘱託)が配置 6・17 福島祐一 第4代教育長に就任(~平成1.6.30) 10・23 津山市文化功労者 川端克己(29人目) 11・4 市内沼、弥生住居跡が焼失	6・01 佐藤章一 県教育長に就任 10・10 瀬戸大橋工事起工式 11・1 県教育委員会制度発足30周年記念式
昭和 54 年 (1979 年)	2・11 市制50周年、市の木「くすのき」、市の花「さつき」を制定	3・15 岡山県高校入試11年ぶりに5教科で実施 6・12 「元号法」公布

	・ 津山市制 50 周年記念式を挙行 ・ 青少年健全育成都市宣言 ・ 専任園長 8 園配置になる。	10・19 台風 20 号来襲、津山市・柵原町など吉井川流域に被害甚大 11・1 米飯給食全市町村に導入
昭和 55 年 (1980 年)	1・ 田邑幼稚園新築 4・ 成名幼稚園新築 7・22 生末敏夫 第 18 代市長に就任 12・26 松本喜三郎 教育委員就任(～63.12.25) ・ 箕作賞の制定 ・ 「情緒の教室」西小学校に開設	2・29 文部省 小・中指導要録の様式を改訂、「参考案」として発表(通達) 10・1 国勢調査(津山市人口 83,136 人) 11・25 文部省「児童生徒の非行の防止について」通知、校内暴力の増加に対応
昭和 56 年 (1981 年)	1・01 津山市人口 82,520 人 3・31 津山市史第六巻を発刊 4・01 津山市立鶴山小学校開校 <6.鶴山小学校> 4・01 津山市立弥生小学校開校 <7.弥生小学校> 4・ 津山市民憲章推協 10 周年市中パレードや講演会開催 7・28 島根県出雲市、長崎県諫早市と 3 市友好交流都市提携 8・01 岡山県津山婦人青年の家設置 12・2 美作国分尼寺発掘調査終了	4・01 教育センター教育相談部の設置 4・27 岡山県幼少中高 P T A 連絡協議会発足 6・11 中教審「生涯教育について」答申 10・1 「常用漢字表」内閣告示・内閣訓令 10・19 福井謙一 ノーベル化学賞受賞
昭和 57 年 (1982 年)	3・17 津山市院庄に西部体育館完成 4・ 高田幼稚園新築 4・19 障害者福祉都市に指定 6・30 新市庁舎が完成 7・23 津山市総合福祉会館が完成 7・26 新市庁舎落成式 8・02 新市庁舎開庁式 8・07 総合福祉会館落成式 8・27 台風 13 号県北に被害 9・29 美和山古墳の整備 10・1 文化振興事業基金を設置 10・4 古代の奇獣パレオパラドキシアの化石を西中学校 3 年、水杉和弥君が津山市上田邑で発見、京大教授亀井教授ら確認 11・3 津山市功労者 森本謙三氏、今岡太郎氏 12・25 赤木美枝子 教育委員就任(～平成 2.12.24) 12・25 橋本勝之助 教育委員就任(～平成 2.12.24)	
昭和 58 年	1・21 津山市立図書館が旧庁舎に移転オープン	3・10 文部省「校内暴力等児童生徒の問題行動に

(1983 年)	2・26 津山スポーツ振興基金を設置 3・14 中国縦貫自動車道が全線開通(吹田～下関間) 4・25 永礼達造 第19代市長に就任 ・ 小学校との兼任が解消され、全園専任園長が配属 10・25 親子 20 分間読書活動の向陽小学校が学研教育賞受賞 12・17 津山市沼の市重文の復元弥生式住居が全焼、53 年に続いて 2 度目の火災 ・ 人権尊重都市宣言	対する指導の徹底について」通知 4・01 岡山県教委、民主教育を同和教育に名称変更 6・30 中教審「教科書の在り方について」答申 7・16 宮地暢夫 県教育長に就任 10・22 国立吉備少年自然の家開所 12・10 中曽根首相「教育改革七つの構想」発表
昭和 59 年 (1984 年)	3・05 津山県域中学校生徒指導連絡協議会結成 6・04 市内沼・弥生の里オープン、津山市が環境整備工事 10・25 教育相談センター鶴山塾開設 藤原修己 初代塾長に就任 11・27 市内河辺に赤穂浪士・茅野勘平の碑が完成 ・ 弥生の里整備、高床倉庫・竪穴住居復元	6・22 岡山県教委「同和教育基本方針」決定 8・08 臨時教育審議会設置法公布 11・1 岡山県古代吉備文化財センター設置 11・20 産業教育百年記念式典開催 12・4 岡山県産業教育百年記念式典開催
昭和 60 年 (1985 年)	1・26 鶴山塾の相談協力員の初研修会開催(市民 128 人参加) 4・07 香川県土庄町と歴史友好都市縁組の調印式 6・21 津山スポーツ振興財団の財団法人移行が認可 10・10 津山市民スポーツ祭開催(毎年開催) 10・27 市立図書館開館 10 周年記念の図書館まつり開催	3・17 つくば科学万博開幕 4・ 「燃えろ岡山」県民運動スタート 5・17 「男女雇用機会均等法」成立 6・29 文部省「児童生徒のいじめの問題に関する指導の充実について」通知 8・12 日航ジャンボ機墜落 520 人死亡 4 人生還 10・1 国勢調査(津山市人口 86,837 人) 11・ 岡山県幼稚園百周年記念大会を岡山衛生会館三木記念ホールにて開催
昭和 61 年 (1986 年)	3・17 市教委中道中学校の学区告示 4・01 津山市立中道中学校創設 <2. 中道中学校>(東中学校及び北陵中学校の通学区域のそれぞれ一部を分離して、新たに中道中学校の通学区域を制定) 4・03 市教委文化課内に津山市民史センター設置 4・03 津山洋学資料館長に水田楽男就任 4・04 中道中学校完成(創設) 4・20 鶴山中学校創意工夫育成功労学校として科学技術庁長官表彰受賞 10・22 市民憲章全国大会開幕(350 人参加)	2・18 西日本記録的な大雪 4・28 チェルノブイリ原発事故
昭和 62 年	4・26 永礼達造 第20代市長に就任	1・ 教職員四週六休の試行実施

(1987 年)	9・19 第 1 回津山国際総合音楽祭開幕(以下 3 年ごとに開催) 10・16 津山市文化功労者 宮本祥郎氏	4・05 教職員四週五休制の実施 9・30 国土庁基準地価公表、首都圏の地下高騰 10・12 利根川進 ノーベル医学・生理学賞受賞
昭和 63 年 (1988 年)	4・01 牧野弘典 教育委員就任(～平成 4.12.19) 4・02 津山郷土博物館開館、森、松平家の子孫が来津してテープカット 5・15 第 1 回津山国際交流車いす駅伝競走大会を開催(国内外 20 チーム)(平成 10 年を除き毎年開催) 10・1 生涯学習モデル市町村に指定された津山市で、美作地区生涯学習推進大会開催 11・ 津山市小・中学校音楽研究演奏会開催(毎年開催) 12・2 友好交流都市縁組結成の津山、出雲、諫早 3 市の「まちづくりサミット」が津山市で開催 12・26 熱田章 教育委員就任(～平成 2.12.25)	3・11 新岡山空港開港 3・13 青函トンネル開通 3・18 岡山県立美術館開館 4・01 竹内康夫 県教育長に就任 4・10 瀬戸大橋開通 11・1 県教育委員会制度発足 40 周年記念式 12・28 教育職員免許法改正(免許状の種類、取得必要単位数等の改正) ・ 文部省「幼稚園教育要領」を改訂の告示(教育課程の改訂)
平成元年 (1989 年)	2・11 津山市制 60 周年記念式典開催 3・08 津山市南新座・旧郷土館がコミュニティ施設「知新館」として開館 3・22 津山市は市制 60 周年記念広場を「音の広場」と命名 ・ 岡山県津山東体育館落成 ・ 大崎幼稚園新築 7・01 萩原賢二 第 5 代教育長就任(～3.6.25) 10・25 岡山県は、津山市城東町並み保存地区を「町並み保存地区」に指定	1・07 昭和天皇崩御 1・08 平成と改元 3・15 新しい幼稚園教育要領、小・中・高校の学習指導要領告示 4・ 初任者研修 小学校で本格実施 4・01 土曜開庁(第 2・4 土曜日)、教職員 4 週 6 休制の実施 消費税スタート 8・20 全国中学校選抜体育大会の開催 11・9 ベルリンの壁崩壊
平成 2 年 (1990 年)	3・ 3 津山幼児音楽祭開催(毎年開催) 5・19 津山市民憲章制定記念式典・音楽祭開催 7・07 津山っ子を守り育てる市民の会発足 7・17 市教委が津山城本丸跡の遺構調査開始 9・01 旧梶村家を修理・復元した「城東むかし町家」開館 11・1 津山弥生の里文化財センター開館 12・25 鍋島英夫 教育委員就任(～10.12.24) 12・25 阿部靖子 教育委員就任(～6.12.24)	1・13 大学入試センター試験始まる 3・27 日教組 教育研究全国大会 岡山武道館を中心に開催 9・22 台風 19 号災害、教育施設にも大きな被害 10・1 国勢調査(津山市人口 89,400 人) 11・12 今上天皇即位の礼
平成 3 年 (1991 年)	4・26 永礼達造氏 第 21 代市長に就任 4・ 東小学校・津山中央病院教室(院内学級)開設 7・12 森定貞雄 第 6 代教育長就任(～4.9.30) 9・16 岡山国際交流フェスティバル'91 津山公演	3・30 岡山県教育史(昭和 31～50 年)発刊 4・01 院内学級県下で初めて設置(倉敷市、津山市) 4・17 岡山県青少年教育センター閑谷学校新館完成

	開催 11・30 津山市民憲章制定 20 周年記念式典・音楽 会開催	9・27 台風 19 号災害、教育施設・文化財に大きな 被害
平成 4 年 (1992 年)	4・05 西東三鬼を顕彰する全国俳句大会開催 9・13 音の城まつり開催、原寸大「冠木門」復元 10・2 藤原修己 第 7 代教育長就任(～8.9.30)	3・23 学校教育法施行規則改正(9 月から毎月第 2 土曜日を公立学校の休業日に) 4・ 小学校で新学習指導要領全面实施 初任者研修全校種で本格実施 7・ 教職員の完全週休 2 日制スタート 9・12 学校週 5 日制 国公立幼稚園・小・中・高校・ 盲・聾・養護学校でスタート 毎月第 2 土曜 日が休日に ・ 日本人初宇宙飛行士毛利衛搭乗のスペース シャトルエンデバー打ち上げ
平成 5 年 (1993 年)	4・01 後藤赳 教育委員就任(～8.3.31) 6・10 俳句文学賞「西東三鬼賞」創設 7・23 初の津山子ども議会開催 9・03 「作州民芸館」が開館(西今町、旧土居銀 行跡) 9・21 南小学校で沖縄県平良第一小学校との姉 妹校縁組み 30 周年記念式典開催	1・28 学校教育法施行規則改正(障害児の通級指 導の充実) 4・ 中学校で新学習指導要領全面实施 4・01 森崎岩之助 県教育長に就任 5・15 J リーグ開幕 6・09 皇太子ご成婚 7・21 魅力ある学校づくり事業(岡山県)
平成 6 年 (1994 年)	2・02 市教委は津山城 400 年記念事業を 2004 年 に開催を決定 4・01 第 1 回西東三鬼賞表彰式開催(毎年開催) 4・24 岡山県津山陸上競技場落成 10・25 鶴山塾開塾 10 周年記念大会開催(～26 日) 11・6 津山市二宮・美和山古墳公園が開園 12・1 場外リンク・津山陸上競技場アイスケー トリリンク開場 12・25 横川寿美子 教育委員就任(～12.3.31)	3・17 「岡山県の生涯学習推進の指針」策定 10・13 大江健三郎ノーベル文学賞受賞 11・24 学校教育法施行規則の一部改正(学校週 5 日制、次年度から月 2 回実施) 12・9 文部省、いじめ対策緊急会議を開きアピー ルを発表
平成 7 年 (1995 年)	4・26 中尾嘉伸 第 22 代市長に就任 10・16 岐阜県兼山町と歴史友好都市縁組の調印 式が兼山町で開催 10・ 第 1 回津山市立幼稚園合同保育「ワイワ イまつり」開催(毎年開催) 12・22 津山市教委は「いじめ問題市民会議」を 発足、市民から提言を募集	1・17 阪神淡路大震災発生 3・13 いじめ対策緊急会議報告「いじめの問題の 解決のために当面取るべき方策について」 (文部省初中局長通知) 3・20 地下鉄サリン事件発生 ・ 国勢調査(津山市人口 91,170 人) 12・15 文部省初等中等局長通知「いじめ問題へ の取組の徹底について」
平成 8 年 (1996 年)	1・26 秀実小学校所蔵で戦前世界最高といわれ たドイツ・ベヒシュタインのピアノの修復 が終わり、音色がよみがえる 4・01 松尾康義 教育委員就任(～16.3.31)	1・30 文部大臣緊急アピール「かけがいのない子 どもの命を守るために」 5・28 病原性大腸菌 O-157 による集団食中毒発 生(岡山県)

	4・01 衆楽園で「曲水の宴」を模した俳句会開催 10・1 松尾康義 第8代教育長就任(～16.3.31) 10・1 小林 正 教育委員就任(～16.9.30) ・ 津山いきいきプラン21(津山市第3次総合計画)策定	
平成9年 (1997年)	2・18 鶴山公園内の鐘楼の全面改築工事の上棟式開催 4・07 院内学級が津山中央病院に開設、入院中の男女2名が授業を受ける 4・21 津山市立図書館が業務管理に電算処理開始 7・15 市教委などは「津山っ子かけこみ110番」設置を決定 8・ 東小学校校舎大規模改修(3年次) 10・13 全国地域安全運動にあわせ、「こどもかけこみ110番」の想定訓練を津山鶴山小学校区内で実施 ・ オランダ・ライデン市で、津田真道と西周の顕彰プレート設置の除幕式が行われる ・ ふれあいプラン(津山市障害者計画)策定	1・01 生涯学習センター設置(2.21オープン) 4・01 黒瀬定生 県教育長に就任 4・01 県教育庁組織の改編整備 学校教育振興室の設置など 6・02 岡山県生涯学習推進本部設置 6・03 学校図書館法改正案成立 2003年度までに司書教諭全校配置へ 6・11 教員免許特例法成立 小中教員免許取得に介護体験を義務付ける 8・19 岡山県生涯学習審議会設置 10・15 県立学校ホームページを開設(岡山県) 10・30 有害化学物質排出問題で学校焼却炉の原則廃止を通知 11・17 ダイオキシン対策で学校焼却炉使用停止
平成10年 (1998年)	4・01 肢体不自由学級新設(中道中学校) 9・19 津山城西まると博物館フェア'98開催(～20、2万人) 10・11 子ども議会が津山市議会議場で開催 10・17 台風10号による集中豪雨で、土砂くずれや浸水被害が相次ぎ大損害を受ける(～18日) 11・30 県北初の都市型公園「グリーンヒルズ津山」オープン 12・25 竹本 巧 教育委員就任(～18.12.24)	2・10 県教委 ナイフ犯罪で緊急会議 所持品検査は各校判断 6・05 学校教育法改正案が成立 公立学校で中高一貫教育が導入可能に 6・ 教育相談スタッフ巡回事業の開始 10・18 台風10号により教育関係施設に多大な被害 10・30 県教育委員会制度発足50周年式典 10・30 県教育委員会発足50周年記念誌「岡山県教育委員会五十年の歩み」発刊 12・14 文部省 幼稚園教育要領、小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領を告示 幼稚園平成12年度、小中学校平成14年度から全面实施
平成11年 (1999年)	2・12 津山市市制施行70周年記念式典開催、市の花に「さくら」を追加指定 3・17 津山市中央幼稚園最後の卒園式開催 3・31 音楽文化ホール・ベルフォーレ津山竣工 4・01 情緒障害児学級新設(中道中学校、津山西中学校)	3・ 文部省 親が家庭を見つめ直し、自信を持って子育てに取り組むため「家庭教育ノート」(小中学生を持つ親に配布)、「家庭教育手帳」(乳幼児を持つ親に配布)作成、4月配布 4・01 全国初の公立併設型の中高一貫校開校(岡

	4・02 市街地再開発ビル「アルネ・津山」オープン。市立図書館、市立文化展示ホール、津山男女共同参画センター「さん・さん」、音楽文化ホール・ベルフォーレ津山を併設 4・26 中尾嘉伸 第23代市長に就任 4・ 津山市立中央幼稚園は津山市立西幼稚園に統合 10・1 津山市情報公開条例が施行 11・30 第1回津山市市民栄誉賞にB'Zのボーカリスト稲葉浩志さんが決定 ・ アメリカ・サンタフェ市との友好交流都市確認書に調印	山市) 6・03 文部省 新学習指導要領への移行処置を告示 8・09 国旗国歌法制立 8・13 国旗及び国歌に関する法律が公布・施行 9・17 文部省「学校における国旗及び国歌に関する指導について」を、付属学校を置く各国立大学長、各都道府県知事、各都道府県教育長に通知 9・21 文部省 「教育改革プログラム」3回目の改訂、主要事項に心の教育の充実等4項目 10・ 学校生活支援員を学校に配置するなど緊急地域雇用特別基金事業開始
平成 12 年 (2000 年)	3・02 B'Zボーカリスト稲葉浩志さんに市民栄誉賞贈る 3・ 東小学校・津山中央病院教室(院内学級)を林田小学校へ移管 4・01 津山中央病院院内学級新設(津山東中学校) 4・01 杉山知子 教育委員就任(～18.12.24) 12・26 黒瀬通弘 教育委員就任(～20・12・25)	1・21 学校教育法施行規則等の一部を改正する省令が公布 (1) 学校評議員制度の導入 (2) 校長・教頭の資格要件の緩和 (3) 職員会議の位置付けの明確化 2・15 岡山県生涯学習推進計画策定 4・01 学校評議員制度及び学校自己評価の試行実施 9・13 文部省 スポーツ振興法に基づく「スポーツ振興基本計画」を告示 12・20 国勢調査津山市人口 90,151 人(前回より1,019 人減)
平成 13 年 (2001 年)	6・12 「備中櫓の復元」が文化庁から許可 7・18 第1回学校評議員会開催 9・29 津山西中学校吹奏楽部が第49回全日本吹奏楽コンクールで2度目の金賞を受賞 10・17 津山市文化功労者 多湖昭彦(アマチュア天文家) 11・7 市内の全中学校2年生による「つやまっ子・デビュー14」が始まり、生徒が職場体験 ・ 市立南児童館開館	1・06 中央省庁の再編整備により、文部省と科学技術庁が統合され、文部科学省となる 2・ 「岡山県教育改革プログラム」策定 3・ 「危機管理マニュアル」を作成し、県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特殊教育諸学校、各教育委員会、関係機関に配布 4・01 宮野正司 県教育長に就任 5・27 岡山県教育改革フォーラム開催 6・08 大阪教育大学附属池田小学校に包丁を持った男が侵入し児童を襲う 6・26 11月1日を「おかやま教育の日」として条例で制定 7・16 「岡山県青少年総合相談センター」(愛称「ハートフル岡山110」)が開設 10・10 名古屋大学教授 野依良治氏がノーベル

		化学賞受賞 12・ 子どもの読書活動の推進に関する法律が成立 子ども読書の日は4月23日
平成 14 年 (2002 年)	1・16 津山城備中櫓復元整備工事起工式 1・27 2002「つやま芸術祭」開幕(2・17 閉幕) 3・23 津山市コミュニティセンター「あいあい」開館 3・31 箕作元甫のブロンズ立像の除幕式開催(JR津山駅前広場) 4・24 津山城築城四百年記念事業実行委員会が発足 11・2 田熊八幡神社・国重文の農村歌舞伎舞台「田熊の舞台」で修復決定記念公演開催 11・23 津山市沼の弥生住居址群内で火災、竪穴式の復元住居1棟が全焼 ・ 津山市西苔田公民館開館	1・11 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正を受け、岡山県教育委員会会議規則及び岡山県教育委員会傍聴規則の一部を改正し、平成14年1月11日から教育委員会会議を公開 4・01 「完全学校週5日制」及び小中学校の「新学習指導要領」がスタート 4・01 小1グッドスタート支援事業、中学校第1学年の学級編成の弾力化、不登校対策のための教員派遣事業、高校スペシャリスト活用支援事業の実施 4・ 文科省は、児童生徒の「豊かな心」を育むため、道徳の内容をわかりやすく表した「心のノート」を作成し、全国の小・中学生に配布 4・01 県教育庁 人権教育推進室、人権・同和教育課の設置 10・8 ノーベル物理学賞に東京大学名誉教授の小柴昌俊氏、ノーベル化学賞に(株)島津製作所の田中耕一氏の受賞が決定
平成 15 年 (2003 年)	2・26 復元整備が進む津山城跡の備中櫓の上棟式が行われる 4・26 中尾嘉伸 第24代市長就任 12・5 津山市の19小学校で四季に一度の地場産材の給食実施(以後毎月1回実施)	1・ 小学校学習到達状況調査・学習実態調査(5年生)の実施。5月に結果を公表 4・01 県教育庁 障害児教育推進室(指導課の課内室)の設置 11・8 「子どもの本ワールド in おかやま」「全国読書フェスティバル岡山大会」の開催
平成 16 年 (2004 年)	2・13 津山松平家のお抱え絵師・鍛形蕙斎の江戸時代の津山城下を描いた六曲一双の「津山景観図屏風」発見 4・01 神崎博彦 第9代教育長就任(～18.4.21) 5・28 津山地域合併協定書に調印(津山市、加茂町、阿波村、勝北町、久米町) 9・03 北小学校3年筒塩侑子さんが津山市総社の自宅で刺殺、津山警察署は殺人事件として捜査 10・1 岸本伍郎 教育委員就任(～20・9・30) 10・20 大型台風23号が西日本を横断、津山市では観測史上最高の最大瞬間風速50.4m/sを	1・20 文科大臣は、安全対策推進のための「学校安全緊急アピール」を発表 5～ 特別支援教育コーディネーター養成講座開始 6・09 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」を改正し、平成17年4月1日から、教育委員会は学校の運営に関して協議する機関として、学校運営協議会を置くことができるとした 7・19 平成17年度教員採用試験に障害者特別選考を新設

	記録、学校の校舎、家屋、山林に大被害	
平成 17 年 (2005 年)	2・17 新津山市の発足に伴い 5 市町村の体育協会の合併調印式が行われた 2・18 県教委は津山市小田中、安国寺の梵鐘を県重要文化財に指定 2・28 津山市に加茂町、阿波村、勝北町、久米町を編入した新「津山市」が誕生 2・28 津山市立加茂小学校と改称<20. 加茂小学校> (昭和 51 年 4 月加茂町立加茂小学校設立 [上加茂小学校(明治 7 年開校)、加茂西小学校(大正 7 年開校)、加茂小学校(明治 7 年開校)、加茂東小学校(大正 4 年開校)の 4 校が統合]) 2・28 津山市立阿波小学校と改称<21. 阿波小学校> (明治 10 年 4 月立誠小学開校、明治 23 年阿波尋常小学校と改称、昭和 16 年 4 月阿波国民学校と改称、昭和 22 年 4 月阿波小学校と改称) 2・28 津山市立新野小学校と改称<22. 新野小学校> (明治 9 年 10 月新野小学開校、明治 26 年 4 月尋常新野小学校と改称、明治 28 年 4 月現在地に移転、明治 42 年 4 月新野尋常小学校と改称、昭和 16 年 4 月新野国民学校と改称、昭和 22 年 4 月新野小学校と改称) 2・28 津山市立広戸小学校と改称<23. 広戸小学校> (明治 8 年 4 月致志小学開校、昭和 30 年 4 月勝北町立広戸小学校と改称) 2・28 津山市立勝加茂小学校と改称<24. 勝加茂小学校> (明治 7 年 11 月開蒙小学開校、大正 3 年 4 月現在地に新築移転(この間 2 回の移転あり)、大正 4 年 4 月勝加茂尋常小学校と改称、昭和 16 年 4 月勝加茂国民学校と改称、昭和 22 年 4 月 勝加茂小学校と改称) 2・28 津山市立喬松小学校と改称<25. 喬松小学	・ 国勢調査(津山市人口 110, 565 人) 4・01 食に関する指導(学校における食育)の推進に中核的な役割を果たすため、「栄養教諭」制度の創設、施行 4・01 県の津山、真庭、勝英の 3 振興局を統合した、美作県民局がスタート 4・01 県 3 教育事務所体制への移行 4・01 新しい教職員の評価システムの試行開始 県内 19 校で実施(小学校 7 校、中学校 7 校、高校 4 校、養護学校 1 校) 4・ 「中学校学習到達状況調査」を初めて実施 県内公立中学校の第 1 学年全生徒を対象に、小学校修了段階の学習到達状況を岡山県教育委員会が独自で調査 調査教科は、国語・社会・算数・理科の 4 教科 7・15 「食育基本法」施行 8～ 学校施設等における吹付けアスベストの使用が問題 県教育委員会では、県が定めた「吹き付けアスベスト飛散防止対策対応方針」に基づき対応 9・10 第 60 回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」夏季大会の開催(～13 まで) 10・12 小・中学校の巡回により学校防犯について指導助言を得るため、警察官 O B を「地域学校安全指導員(スクールガード・リーダー)」として初めて委嘱 (平成 17 年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業) 10・22 第 60 回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」秋季大会の開催(43 年ぶり 2 回目) 岡山県は天皇杯・皇后杯を獲得(～27 まで) 11・5 第 5 回全国障害者スポーツ大会「輝いて!おかやま大会」が開催(～7 まで) 11・11 セクシュアル・ハラスメントについて教職員の理解を深めるため、パンフレット「NO! セクハラ」を作成。県内の小・中・高・特殊教育諸学校の教職員へ配布。セクシュアル・ハラスメントの相談窓口とし

	校＞ (明治 6 年 1 月創立、明治 7 年 8 月喬松校と命名、明治 20 年岩谷小学校と合併、明治 42 年喬松尋常小学校と改称、大正 8 年農業補習学校を付設、昭和 16 年 4 月喬松国民学校と改称、昭和 22 年 4 月喬松小学校と改称、昭和 30 年 1 月久米町立喬松小学校と改称) 2・28 津山市立中正小学校と改称＜26. 中正小学校＞ (明治 26 年 7 月公正尋常小学校・大井尋常小学校開校、明治 45 年 4 月公正尋常高等小学校・大井尋常高等小学校と改称、昭和 8 年 4 月公正小・大井小統合、久米郡中正小学校と改称、昭和 16 年 4 月中正国民学校と改称、昭和 22 年 4 月久米郡中正小学校と改称、昭和 30 年 1 月久米町立中正小学校と改称) 2・28 津山市立誠道小学校と改称＜27. 誠道小学校＞ (明治 20 年 4 月精業小学校(明治 7 年 11 月開校)と成名小学校(明治 9 年 5 月開校)を合併し尋常誠道小学校と改称、明治 26 年 4 月誠道尋常小学校と改称、明治 42 年 4 月誠道尋常高等小学校と改称、大正 10 年 7 月誠道実業補習学校を併設(15 年 4 月併設を廃止)、昭和 16 年 4 月 誠道国民学校と改称、昭和 22 年 4 月 誠道小学校と改称、昭和 28 年 1 月組合立誠道小学校と改称、昭和 30 年 1 月久米町立誠道小学校と改称) 2・28 津山市立秀実小学校と改称 ＜28. 秀実小学校＞ (明治 8 年 6 月秀実小学校開校) 2・28 津山市立加茂中学校と改称 ＜6. 加茂中学校＞ (昭和 22 年 4 月加茂中学校開校(加茂小学校校舎)、昭和 22 年 5 月阿波中学校開校(阿波小学校・上加茂小学校校舎)、昭和 22 年 11 月阿波中学校を阿波村・上加茂村学校組合矢筈中学校と改称、昭和 27 年 3 月加茂町・新加茂町学校組合立加茂中学	て県教育委員会内に専用電話「セクハラ相談ホットライン」を新設
--	---	---------------------------------------

	校と改称、昭和 29 年 4 月加茂町立加茂中学校と改称、昭和 46 年 4 月加茂中学校と矢筈中学校を統合し加茂町立加茂中学校創設) 2・28 津山市立勝北中学校と改称 <7. 勝北中学校> (昭和 22 年 4 月勝加茂村・新野村・広戸村組合勝北中学校開校、昭和 30 年 4 月勝北町立勝北中学校と改称) 2・28 津山市立久米中学校と改称 <8. 久米中学校> (昭和 22 年 4 月大東村・久米村・郷村学校組合立格到中学校開校、倭文村立秀実中学校開校、昭和 27 年 11 月大井町外三ヶ村学校組合立格到中学校と改称、大井町外三ヶ村学校組合立秀美中学校と改称、昭和 30 年 1 月久米町立秀実中学校と改称、昭和 33 年 4 月久米町立格到中学校と改称、昭和 35 年 4 月格到中学校と大井西中学校統合、昭和 42 年 4 月格到中学校・秀美中学校名目統合し久米中学校と改称、昭和 44 年 4 月久米中学校新校舎開校式、実質統合) 2・28 津山市立加茂幼稚園と改称 <13. 加茂幼稚園> (昭和 29 年 10 月加茂東小学校に加茂町立加茂幼稚園創立、昭和 37 年 4 月加茂西小学校に加茂幼稚園西分園設立、昭和 38 年 4 月加茂町立加茂幼稚園東園舎、西園舎と改称、昭和 39 年 4 月東・西園舎統合し、加茂町立加茂幼稚園と改称、新園舎落成) 2・28 津山市立阿波幼稚園と改称 <14. 阿波幼稚園> (昭和 32 年 9 月阿波村幼稚園開設、昭和 35 年 4 月阿波幼稚園と改称) 2・28 新「津山市」誕生による社会・文化施設 ・加茂町公民館 (昭和 46 年 10 月加茂町山村開発センターとして建設された施設を昭和 54 年 4 月から公民館としても利用) ・阿波公民館 (昭和 57 年 7 月山村開発センターとして完成した施設を公民館としても利用)	
--	--	--

	・勝北公民館（平成 10 年 3 月完成） ・久米公民館（昭和 49 年 3 月完成） ・加茂町文化センター（平成 9 年 3 月竣工） ・勝北文化センター（平成 10 年 3 月竣工） ・加茂町歴史民俗資料館（昭和 63 年 3 月開館） ・勝北歴史民俗資料館（昭和 50 年 4 月開館） ・久米歴史民俗資料館（昭和 55 年 7 月開館） ・久米民具館（平成 5 年 4 月開館） 3・19 津山城備中櫓復元整備工事竣工、完成記念式典開催（20 日から一般公開） 3・24 津山市宮脇町の「徳守神社攝社住吉神社」が市重要文化財に指定 4・17 第 13 回津山加茂郷フルマラソン全国大会開催(毎年開催) 4・23 清泉小学校が平成 17 年度「読書活動優秀実践校・文部科学大臣表彰」を受賞 5・01 津山市田熊の国指定重要有形民俗文化財「田熊の舞台」の修復工事完了記念こけら落とし公演 5・03 備中櫓完成記念「津山お城まつり」が鶴山公園で開催（～5 日まで）（約 1 万 8 千人） 5・20 津山市合併記念式典開催 5・26 津山市営プールが老朽化対策のため営業中止 7・16 津山スポーツ賞の表彰式が行われ、功労者 7 人、優秀選手 14 人、優良団体 3 団体が表彰 10・23 晴れの国おかやま国体・第 60 回国体秋季大会が 43 年ぶり開催（柔道全種目、剣道成年男女、ハンドボール成年男子、軟式野球成年、ゲートボール {デモンストラーション} ） 岡山県として悲願の天皇杯と皇后杯を獲得 12・23 津山市志戸部のスケート場・アイスランド津山が 2 年ぶりにオープン	
平成 18 年 (2006 年)	2・13 津山城が「日本名城 100 選」（日本城郭協会）に選定	3・31 「食育推進基本計画」の策定 4・01 門野八洲雄 県教育長就任

	3・19 桑山博之 第 25 代津山市長に就任 5・01 藤田長久 第 10 代教育長就任（～22・3・31） 6・16 津山郷土博物館が国の有形文化財に登録 6・27 津山市体育協会の合併祝賀会が開催 11・25 鶴山公園（津山城跡）が「日本の歴史公園百選」に選定 12・8 第 14 回県国際理解教育研究大会、第 1 回全海研中国ブロック岡山大会が鶴山小学校で開催 12・21 津山市沼、堅穴式の復元住居 1 棟が不審火で全焼 12・25 八木恵三子 教育委員就任（～22・12・24） 12・25 荏田裕也 教育委員就任（～22・12・24）	4・01 新しい教職員評価システムを全公立学校に導入 6・21 特殊教育から特別支援教育への移行を内容とする「学校教育法等の一部を改正する法律」の公布（平成 19 年 4 月 1 日施行） 7・01 「岡山県青少年健全育成条例」の施行 8・04 「認定子ども園の認定基準に関する国の指針」の策定 10・1 「認定子ども園」制度のスタート 11・17 文科大臣がいじめ自殺問題で「文科大臣からのお願い」と題する 2 通のアピール文を発表、都道府県教育委員会を通じて小中高校生全員に配布 11・22 県教育長と県内の校長会会長が連名で「あなたを守りたい～緊急アピール」を発表、県内の小、中、高、盲・聾・養護学校の全児童生徒に配布 12・19 県独自にいじめ調査を緊急に実施、平成 18 年 4 月から 10 月までの公立学校のいじめ件数（1,263 件）を公表 いじめ対応マニュアルの作成に着手、平成 18 年度中に公立学校に配布予定 12・22 改正教育基本法公布、施行（1947 年の制定以来初めての改正、12 月 15 日成立） 12・26 「岡山県食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例」の施行
平成 19 年 （2007 年）	1・08 全国高校サッカー選手権大会決勝、作陽高校は盛岡商業に 1－2 で惜敗し、準優勝 1・15 沼・弥生住居址群の復元高床倉庫が焼失 2・ 「60・15（ろくまるいちごう）キャンペーン」（60 分早寝・15 分早起き、朝ごはんを食べよう！）「挨拶運動」の実施 4・01 通級指導教室設置（津山西中学校） 4・11 戸島学校食育センターの起工式開催（津山市戸島・津山総合流通センター内） 4・24 文科省「全国学力・学習状況調査」43 年ぶりに実施（小学校 6 年国語・算数、中学校 3 年国語・数学 4・29 津山市立勝北中学校創立 60 周年・新校舎全面改築落成記念式典開催 6・10 一宮小学校校舎増築工事完成記念式典開	2・ 岡山県人権教育推進プランの策定 2・10 文科省が「新学校図書館整備 5 カ年計画」を策定 3・02 岡山県食育推進計画（2007～2010 年度）の策定 3・30 安倍内閣が「学校教育法等の改正」「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正」「教育職員免許法及び教育公務員特例法の改正」の 3 法案を第 166 回通常国会に提出→6 月 20 日成立 4・12 県総合教育センターの開所 4・24 全国学力・学習状況調査の実施（43 年ぶりの全国一斉調査、小学校第 6 学年・中学校第 3 学年が対象、参加した校数、児童生徒数は国公立合わせて、小学校 22,072 校、

	催 7・10 第 1 回津山市学校給食センター整備委員会開催（今後、専門部会、献立、食材調達、給食費算定方法等協議） 8・08 津山市城西公民館落成式開催（津山市としては 22 番目） 9・25 新津山洋学資料館の利活用について「懇談会」発足 10・07 第 36 回つやま市民スポーツ祭・津山市民憲章制定 36 周年市民憲章デー合同祭典開催。 10・26 全国学力・学習状況調査の結果公表 11・01 「津山市教育委員会 55 年のあゆみ」編集 11・01 「おかやま教育の日」、「津山市教育委員会発足 55 周年」 11・3 第 19 回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア岡山 2007 i n 津山」開幕、津山市ではアルネ津山・東広場等各地で、4 日まで「体験活動を通じて、子どもの夢を育み、可能性を開く」というテーマで開催（～4 日） 11・17 津山市立津山西中学校創立 30 周年記念式開催 12・15 津山市立鶴山中学校創立 30 周年記念	1,139,492 人、中学校 10,544 校、1,077,209 人） 4・27 文科省が「全ての教員の ICT 活用指導力向上のために～教員の ICT 活用指導力の基準の普及・活用方策について～」を公表 5・25 改正児童虐待防止法の成立 →平成 20 年 4 月 1 日、施行 5・25 改正少年法が成立（少年院への送致年齢の下限を「14 歳」から「おおむね 12 歳」に引き下げ） →11 月 1 日、施行 11・2 第 19 回全国生涯学習フェスティバル（まなびピア岡山 2007）の開催（県内全市町村の参加は大会史上初、入場者数約 81 万人）（～6 日）
平成 20 年 （2008 年）	1・25 給食センター業務委託 3・19 津山市スポーツ振興基本計画 3・27 津山市教育長に藤田長久任命（再任）（平成 20 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日） 4・1 機構改革により、教育委員会事務局は 5 課体制となり義務教育に特化。幼稚園はこども課が所管となる 4・1 戸島学校食育センターがオープン 4・1 全小中学校に AED を設置 4・1 「津山市教育委員会 55 年のあゆみ」教育委員会発足 55 周年 発刊 4・15 津山市が勝北地区 4 保育所を統合、子育て支援拠点「勝北統合保育所（仮称）」の起工式举行 4・22 全国学力・学習状況調査実施 4・26 新津山洋学資料館の起工式举行 5・19 「第 1 回津山市学力向上構想懇談会」開催	1・17 中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」 2・24 橋本信子県教育委員長の就任 3・28 文科省、新しい幼稚園教育要領、小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領公示 3・28 学校教育法施行規則の一部改正省令公布 3・ 「第 2 次岡山県子ども読書活動推進計画～おかやまどろんどろん読書プラン～」の策定 6・02 岡山県、財政危機宣言発表 7・01 教育振興基本計画策定 9・24 県内の学校給食における事故米穀の混入が判明 10・18 「第 6 回森林（もり）を考える岡山県民のつどい」が、グリーンヒルズ津山で開催 10・26 県知事選で、現職の石井正弘氏 4 選 10・31 教育委員会発足 60 周年記念誌「岡山県教

	5・23 教育委員学校訪問開始(12.16まで10日間で全小・中学校訪問、毎年実施) 8・6 秀実小学校体育館の耐震工事完了 8・29 津山市立小中学校適正規模・適正配置検討懇談会を設置 9・1 津山市戸島学校食育センターが本格的に稼働、旧市内の小中学校の5,000食を調理、市内すべての小中学校が完全給食 9・24 南小学校耐震化工事着手 10・1 岸本伍郎 教育委員再任(～H24・9・30) 10・3 津山市教委は、佐良山小学校でパソコン4台盗難の発表 10・31 「津山で育って良かった」津山っ子育成共同アピール発表 12・26 吉井常浩 教育委員就任(～H24・12・25)	育委員会の歩み」を発行 11・8 第6回おかやま県民文化祭・総合フェスティバル in 津山のイベント開催 11・12 文科省、「『ネット上のいじめ』に関する対応マニュアル・事例集』発表 12・19 県立岡山大安寺高等学校に、県内初の県立中等教育学校の設置を決定 12・23 文科省、高等学校学習指導要領 改定案公表
平成 21 年 (2009 年)	4・1 学力向上「げんぼプロジェクト」の取組スタート 4・21 全国学力・学習状況調査実施 5・8 津山市立小中学校の耐震化診断公表 5・26 津山新洋学資料館が完成(来春オープン予定) 7・10 広報紙「教育委員会だより(かわら版)」第1号発行(毎年7月・12月・3月) 8・1 県近代化遺産の旧中島病院本館がまちづくり拠点施設「城西浪漫館」として開館 8・4 津山市制80周年記念イベント「夏季巡回ラジオ体操」が、津山市中央公園グラウンドで開催 8・26 中正小学校体育館の耐震工事完了 9・1 津山市立小中学校の耐震化推進計画公表 9・30 津山市学校給食食育将来計画検討懇談会を設置し、第1回検討懇談会を開催 10・23 高田小学校管理棟改築工事完了 10・25 津山市教育センター「鶴山塾」開塾25周年 10・28 西小学校耐震化大規模改修工事完了 11・6 新津山洋学資料館、オランダ・ライデン市にある博物館「シーボルトハウス」と友好館提携 11・3 津山市文化功労者表彰式 11・12 県、グラスハウスを津山市へ無償譲渡	1・30 文部科学省 携帯電話の取扱い等に関する調査の結果を踏まえ「学校における携帯電話等の取扱い等について」を通知。児童生徒の小・中学校へ携帯電話の持ち込みを原則禁止したほか、高等学校においても使用の制限を設けることを通知 2・24 中島義雄県教育委員長の就任 4・10 県立岡山瀬戸高等支援学校の開校及び第1回入学式 4・21 平成21年度全国学力・学習状況調査の実施 5・ 新型インフルエンザの国内発生 6・16 岡山県の「公立学校施設の耐震改修状況調査」の結果公表、全国の結果の公表 7・21 「新型インフルエンザの影響による国内修学旅行の中止又は延期の状況等に関する調査」結果の公表 8・27 「平成21年度全国学力・学習状況調査」岡山県の結果の公表、国の結果の公表 10・18 県立岡山大安寺中等教育学校の第1回説明会実施 11・30 平成20年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果(暴力行為、いじめ等)の発表 12・18 平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の岡山県の結果について発表

	11・22 津山市体育協会 60 周年記念式典開催 11・24 秀実小学校校舎・体育館の耐震工事完了 12・5 明石署は、女子高生に対する脅迫の疑いで津山東中教諭を容疑者として逮捕	
平成 22 年 (2010 年)	1・26 津山市が弥生住居址群で進めていた復元 竪穴式住居の改築工事が完了し、完成式典 挙行 2・21 任期満了に伴う津山市長選が投票、新人の 宮地昭範氏が初当選 2・26 「津山市学力向上構想懇談会」の最終報告 3・19 新津山洋学資料館が西新町の城東町並み 保存地区にオープン 3・25 津山市学校給食食育将来計画の策定 4・1 田村芳倫 教育長就任 (～24・3・31) 4・20 全国学力・学習状況調査実施 6・29 津山市立学校の適正な規模や配置等に関 する基本方針の策定 7・7 佐良山小学校屋内運動場・付属棟増築工事 完了 8・25 津山市が本年度から 6 年間の指針とする 第 9 次行財政改革大綱策定 8・26 通級指導教室新設が北小学校設置に決定 9・29 津山市体育協会に加盟の武道 7 団体で構 成する「津山武道学園」設立 12・1 鶴山小学校創立 30 周年記念で、児童が制 作した愛唱歌「心つなげて」を初披露 12・25 居原田洋子 教育委員就任 (～H26・12・24) 12・25 渡邊信介 教育委員就任 (～H26・12・24)	1・25 教職員の相次ぐ不祥事の発生を受け、緊急 校長会実施 2・01 「第 3 次岡山県生涯学習推進基本計画」策 定 2・05 「岡山県教育振興基本計画－未来を拓く 人づくりプラン－」策定 (平成 22～26 年度) 2・24 松田欣也教育委員長就任 4・ 公立高等学校授業料無償化の開始 4・20 平成 22 年度全国学力・学習状況調査の県内 実施状況発表(平成 22 年度から抽出にて実 施) 7・21 「公立学校施設の耐震改修状況調査」の岡 山県の結果について発表、国も公表 7・30 「平成 22 年度全国学力・学習状況調査」岡山 県の結果の概要について発表 9・14 平成 21 年度「児童生徒の問題行動等生徒指 導上の諸問題に関する調査」結果 (暴力行 為、いじめ、高等学校不登校等) について 国が発表 10・30 「第 25 回国民文化祭・おかやま 2010 あっ 晴れ！おかやま国文祭」の開催 (美作地域で は 18 の催し) 11・7 「おかやま国文祭」閉幕 (8,000 人) 12・16 平成 22 年度全国体力・運動能力、運動習 慣等調査結果発表(岡山県、全国)
平成 23 年 (2011 年)	1・9 第 61 回津山市成人を祝う会開催(1,083 人) 【毎年開催】 2・7 南小学校校舎耐震工事完成 3・13 東日本大震災を受け、美作地区でも支援体 制の輪が広がり式典などは自粛相次ぐ 3・15 津山市立中学校卒業式 3・18 津山市立幼稚園卒園式 3・23 津山市立小学校卒業式 3・26 津山市の中央公園グラウンドに整備を進 めていた弓道場が完成し、落成式開催	2・21 新岡山幼稚園教育振興計画策定 2・24 橋本信子教育委員会委員長就任 3・11 東日本大震災発生 午後 2 時 46 分頃国内観測史上最大の地震 があり、東北を中心に北海道から九州にか けて揺れを観測。さらに大津波が発生して 多くの家屋が倒壊、流された。また、福島 第一原発の炉の一つが冷却できない状況 となり、政府が初の原子力緊急事態宣言 3・14 東日本大震災における被災地域の児童生 徒等の就学機会の確保等について都道府

3・31 津山だんじり、大隅神社御輿等修理事 4・1 津山市教育委員会が、機構改革により、学校教育部（教育総務課・学校施設課・学校教育課・保健給食課）と生涯学習部（生涯学習課・図書館・文化課・スポーツ課）の2部制でスタート 4・1 学級安全サポート事業スタート（市内の小中学校で36人以上の学級と在籍数6人以上の特別支援学級のうち8学級に、非常勤講師を配置し、少人数指導を充実） 4・2 「第18回西東三鬼賞」表彰式開催【毎年開催】 4・3 「曲水の宴」俳句会開催【毎年開催】 4・8 津山市立小学校入学式 4・11 津山市立中学校入学式 4・12 津山市立幼稚園入園式 4・17 第19回津山加茂郷フルマラソン全国大会開催【毎年開催】 4・24 津山市弓道場の道場開き 4・29 今月から市営化したガラスハウスがリニューアルオープン 5・26 教育委員学校訪問開始(11.24までの10日間)【毎年実施】 5・29 台風2号で被害発生 6・9 津山市教育振興基本計画検討委員会の設置 6・26 老朽化に伴う久米公民館改築工事の起工式举行（H24・2月末完成予定） 8・17 東小学校校舎改築工事完成 8・29 津山市は、平成15年10月21日に小学校で女子児童が授業中転倒し、半身まひなどの後遺症が残った事故について管理責任を認め、1億円の損害賠償金を支払うことで和解したと発表（市の賠償額では過去最高） 9・17 津山市総合音楽祭が「未来に架ける人の輪・音の輪」をテーマに開幕 10・4 放送大学岡山学習センター津山教室開設 10・9 「第40回つやまスポーツ祭」開催【毎年開催】 10・13 「第17回津山市立幼稚園合同保育ワイワイまつり」開催【毎年開催】	県教育委員会へ通知 3・17 被災地域の児童生徒の就学機会の確保等について県立学校・市町村教育委員会へ通知 3・18 震災の影響により、平成23年度の全国学力・学習調査の実施を取りやめ 4・01 竹井千庫教育長就任 4・01 指導課生徒指導推進室設置 4・14 公立中学1年生を対象に、独自の学力テストを実施 6・16 公立学校園における児童虐待の状況等を発表 7・01 独自学力テストの結果を公表 7・07 東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について緊急提言を公表 7・11 養護教諭制度70周年記念学校保健功労者文部科学大臣表彰被表彰者決定 7・14 児童虐待防止検討委員会設置、第1回会議を開催 7・18 女子サッカーW杯ドイツ大会の決勝で、日本女子代表・なでしこジャパンが岡山湯郷ベルのMF宮間あやの活躍などで、アメリカを2-2（PK3-1）で破り、悲願の初制覇 8・04 平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果を公表 8・04 児童生徒の問題行動等に関する調査結果で、不登校及び暴力行為が全国ワースト1 8・22 児童生徒の問題行動等に関する臨時校長会を2日間にわたり開催 9・02 生涯学習センター未来科学棟(仮称)整備基本計画を策定 12・22 第3次岡山夢づくりプラン策定
--	---

	10・27 西小学校が「学校保健及び学校安全・文部科学大臣表彰」受賞 11・14 「津山市学校給食施設等整備計画」（案）公表 11・17～18 津山市小中学校音楽研究演奏会開催 11・22 津山東中学校 PTA が「優良 PTA・文部科学大臣表彰」受賞（北陵中学校 PTA [H11] 林田小学校 [H18] に次いで 3 番目） 11・30 東京スカイツリーの展望台に、津山郷土博物館所蔵の「江戸一目屏風（鋏形蕙齋作）」レプリカの設置決定	
平成 24 年 (2012 年)	1・8 第 62 回津山市成人を祝う会開催（1, 079 人） 1・13 「津山市食物アレルギーの対応マニュアル」策定 2・14 臨時教育委員会にて「津山市教育振興基本計画」が承認・策定となる 3・4 東小学校校舎落成記念式 3・13 津山市立中学校卒業式 3・15 津山城宮川門跡石垣保存修理完了 3・16 津山市立幼稚園卒園式 3・20 津山市指定重要文化財八出天満宮保存修理完了 3・22 津山市立小学校卒業式 3・30 「第 19 回西東三鬼賞」表彰式で、大賞に澤本三乗氏の句を選定 3・31 就学援助システム完成 3・31 「曲水の宴」俳句会開催 4・1 田村芳倫 教育長再任（～28・3・31）	

（注）

- ・教育行政及び関連事項について、津山市のできごとを左の欄に、全国・岡山県の動きを右の欄に記しましたので関連づけて見て下さい。
- ・人名については敬称を省略し、就任の時期を記入しました。教育委員・教育長については（ ）内に辞任の時期を加えました。
- ・文化財の指定については、「Ⅳ．資料 文化財」の項に記載されているので、年表からは除外しました。
- ・主要行事については、平成22年までは開催した最初の年のみ記載し、以後省略しています。

◇主 要 参 考 文 献

- ・津山市史 第七巻 現代Ⅱ ―大正・昭和時代― 昭和 60 年 3 月
- ・津山市議会 50 年のあゆみ 昭和 54 年 2 月
- ・市制 15 年の歩み 昭和 58 年 3 月
- ・津山市教育要覧 ―1967― 20 年の歩み
(新学制 20 周年記念 昭和 22 年・1947 年～昭和 42 年・1967 年) 昭和 43 年 3 月
- ・津山市の教育 (1973 年～2011 年) (欠年あり)
- ・津山市教育委員会 55 年のあゆみ 教育委員会発足 55 周年 津山市教育委員会 平成 20 年 4 月
- ・津山市立幼稚園のあゆみ (誕生 80 年記念) 平成元年 3 月
- ・教育委員会の歩み 40 年 教育委員会発足 40 周年記念誌 岡山県教育委員会 昭和 63 年 11 月
- ・岡山県教育委員会五十年の歩み (1998 年) 平成 10 年 10 月
- ・岡山県教育委員会の歩み (平成 11 年～20 年)
- ・教育委員会発足 60 周年記念誌 岡山県教育委員会 平成 20 年 10 月
- ・岡山県ホームページ・教育史年表 (全国) (岡山県) 昭和 20 年～平成 23 年
- ・津山朝日新聞―今年の回顧―
昭和 31 年(1956)～昭和 56 年(1981) [26 年間のうち昭和 39, 42, 55 年保存・記載なし]
昭和 57 年 (1982) ～昭和 63 年(1988)、平成元年(1989)～平成 23 年 (2011) [30 年間]

※上記の各資料から津山市の教育、文化等に関連する事項を抜粋し、要点を略年表に記載しました。

IV. 資

料

1. 学校（園）等の施設状況

◆小学校施設の状況

(平成24年5月1日現在)

項目 学校名	校地面積(㎡)		建物面積(㎡)		建物面積(㎡)		プール(㎡)		
	全校地		校舎		屋内運動場(講堂を含む)		本プール		
		うち運動場		うち木造		うちクラブハウス	長(m)	コース数	面積
東小学校	20,905	9,705	4,842		659		25	7	290
西小学校	(2,387) 12,167	(1,910) 6,186	3,769	47	699		25	7	325
南小学校	13,135	6,015	4,521		1,084	175	25	7	325
北小学校	21,198	11,214	4,119		664		25	8	325
林田小学校	16,673	9,218	5,769		1,330	102	25	8	325
鶴山小学校	19,871	8,671	4,840		970		25	8	325
弥生小学校	21,747	8,304	4,405		981		25	8	325
向陽小学校	18,678	7,480	3,532		658		25	6	287
院庄小学校	12,519	7,688	2,050		545		25	7	325
佐良山小学校	12,149	6,105	3,725		644		25	7	325
一宮小学校	22,228	12,331	5,539		997	197	25	7	325
高田小学校	11,735	4,410	2,902	57	857	159	25	6	325
清泉小学校	10,009	3,480	2,296		997	200	25	5	200
高倉小学校	11,382	6,407	2,432		903	155	25	7	325
高野小学校	16,026	9,266	5,254		972		25	7	325
成名小学校	14,960	8,022	2,692		997	165	25	5	200
河辺小学校	14,459	5,718	4,601		1,071	200	25	7	325
大崎小学校	13,648	7,000	3,332		1,094	200	25	7	325
広野小学校	16,379	4,040	1,945	188	1,094	200	25	5	200
加茂小学校	14,109	8,593	3,646		806		25	7	375
阿波小学校	9,972	3,544	1,717	23	1,595	213	25	6	250
新野小学校	13,356	5,680	2,686		632		25	7	325
広戸小学校	9,658	3,900	2,139		645		25	7	325
勝加茂小学校	16,113	7,325	2,317		685		25	6	325
喬松小学校	15,527	9,726	1,704		500		25	5	275
中正小学校	11,822	7,467	2,219		501		25	6	325
誠道小学校	12,528	5,424	1,877	26	705		25	6	310
秀実小学校	15,438	8,959	2,114		630		25	6	325
計	(2,387) 418,391	(1,910) 201,878	92,984	341	23,915	1,966			8,562

※()借用地再掲

◆中学校施設の状況

(平成24年5月1日現在)

項 目 学校名	校 地 面 積(m ²)		建 物 面 積(m ²)		建 物 面 積(m ²)		プ ー ル(m ²)		
	全 校 地		校 舎		屋内運動場(講堂を含む)		本プール		
		うち運動場		うち木造		うちクラブハウス	長(m)	コース数	面積
津山東中学校	41,658	22,781	6,284		1,681		25	8	400
中道中学校	33,359	16,901	7,272		1,985	200	25	8	400
北陵中学校	33,722	13,961	6,825		1,717		25	8	400
鶴山中学校	32,770	14,550	5,965		1,778		25	8	400
津山西中学校	31,711	16,339	5,865		1,892		25	8	400
加茂中学校	28,058	16,002	3,736		1,924		25	6	325
勝北中学校	32,336	14,450	4,311		2,149	254	25	8	275
久米中学校	25,513	14,367	3,524		1,578		25	8	425
計	259,127	129,351	43,782	0	14,704	454			3,025

※久米中学校プールは使用不可

◆幼稚園施設の状況

(平成24年5月1日現在)

項 目 幼稚園名	園 地 面 積(㎡)		建 物 面 積(㎡)		プ ー ル
	全 園 地		園 舎		
		うち運動場		うち木造	
西 幼 稚 園	2,310	466	519	519	
東 幼 稚 園	3,546	1,879	608		
河 辺 幼 稚 園	2,621	1,044	520	10	
大 崎 幼 稚 園	1,519	459	339		
院 庄 幼 稚 園	2,500	1,473	421		
鶴 山 幼 稚 園	3,276	1,498	675	665	
田 邑 幼 稚 園	1,730	940	302		
佐良山幼稚園	1,740	630	467		
高 田 幼 稚 園	1,744	923	287		○
清 泉 幼 稚 園	1,868	905	287		
成 名 幼 稚 園	1,240	640	240	15	
二 宮 幼 稚 園	2,029	1,030	414		
加 茂 幼 稚 園	(4,149) 5,936	(1,252) 3,158	728	728	
阿 波 幼 稚 園	3,011	1,417	477		
計	(4,149) 35,070	(1,252) 16,462	6,284	1,937	

※()借用地再掲

◆市立学校・幼稚園 園児・児童・生徒数、学級数

(平成24年5月1日現在)

学校種別	学校(園)数	学級数	児 童 生 徒 数		
			男	女	計
小 学 校	28	308	3,184	3,003	6,187
中 学 校	8	107	1,528	1,529	3,057
幼 稚 園	14	26	206	166	372
計	50	441	4,918	4,698	9,616

◆幼稚園児、学級数

(平成24年5月1日現在)

区分 学校名	3歳児	4歳児	5歳児	計	学級数
西 幼 稚 園		15	12	27	2
東 幼 稚 園		26	30	56	2
河 辺 幼 稚 園		16	15	31	2
大 崎 幼 稚 園		7	15	22	2
院 庄 幼 稚 園		8	7	15	2
鶴 山 幼 稚 園		34	26	60	3
田 邑 幼 稚 園		3	3	6	1
佐良山幼稚園		9	6	15	2
高 田 幼 稚 園		19	19	38	2
清 泉 幼 稚 園		4	5	9	1
成 名 幼 稚 園		15	22	37	2
二 宮 幼 稚 園		8	9	17	2
加 茂 幼 稚 園		10	22	32	2
阿 波 幼 稚 園	1	3	3	7	1
計	1	177	194	372	26

◆小学校児童・学級数

(平成24年5月1日現在)

区分 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	学級数
東小学校	50	40	52	49	54	42	287	14
西小学校	35	35	32	34	47	33	216	9
南小学校	31	20	38	39	30	39	197	8
北小学校	44	46	52	58	49	53	302	14
林田小学校	46	51	46	55	46	51	295	16
鶴山小学校	68	89	90	97	74	90	508	20
弥生小学校	96	116	86	80	105	85	568	22
向陽小学校	43	53	51	43	56	43	289	14
院庄小学校	44	22	29	25	40	29	189	10
佐良山小学校	51	57	50	63	57	56	334	14
一宮小学校	85	87	100	84	94	87	537	21
高田小学校	33	13	21	16	25	24	132	7
清泉小学校	12	9	15	11	11	24	82	7
高倉小学校	11	20	18	24	20	22	115	8
高野小学校	74	89	78	86	82	79	488	21
成名小学校	18	19	15	20	16	19	107	8
河辺小学校	39	55	46	53	51	60	304	14
大崎小学校	33	33	33	37	31	42	209	9
広野小学校	17	12	18	17	11	12	87	7
加茂小学校	25	34	42	41	35	28	205	8
阿波小学校	0	3	6	6	6	6	27	4
新野小学校	27	24	29	23	25	28	156	8
広戸小学校	10	12	15	15	8	19	79	7
勝加茂小学校	19	24	14	26	29	18	130	8
喬松小学校	10	10	13	8	14	9	64	7
中正小学校	24	17	14	17	12	10	94	8
誠道小学校	18	8	14	14	22	13	89	7
秀実小学校	15	16	12	15	18	21	97	8
計	978	1,014	1,029	1,056	1,068	1,042	6,187	308

◆中学校生徒・学級数

(平成24年5月1日現在)

区分 学校名	1年生	2年生	3年生	計	学級数
津山東中学校	213	221	221	655	22
中道中学校	155	146	145	446	15
北陵中学校	237	233	224	694	23
鶴山中学校	86	103	84	273	10
津山西中学校	158	185	180	523	18
加茂中学校	32	45	36	113	4
勝北中学校	64	58	68	190	7
久米中学校	47	64	52	163	8
計	992	1,055	1,010	3,057	107

◆教職員数

(平成24年5月1日現在)

職種別 校種別	校(園)長		副校長	教頭	教諭		講師	養護教諭	事務職員	栄養教諭・栄養職員	学校司書	給食調理員・校務員	計	
	県	市	県	県	県	市	県	県	県	県	市	市	県	市
幼稚園		14 (9)				45 (3)								59 (12)
小学校	28			28	357		91	29	29	4	9 (9)	54 (34)	566	63 (43)
中学校	8		1	8	171		60	9	9	4	4 (4)	8 (8)	270	12 (12)
計	36	14 (9)	1	36	528	45 (3)	151 0	38 0	38 0	8 0	13 (13)	62 (42)	836	134 (67)

() は嘱託員 [内数]

2. 学校給食等の状況

◆学校給食実施人員

(平成24年5月1日現在)

学校種別	型	学校数(校)	児童・生徒数(人)
小学校	完全給食	28	6,187
中学校	完全給食	8	3,057
幼稚園	完全給食	2	39
合 計		38	9,401

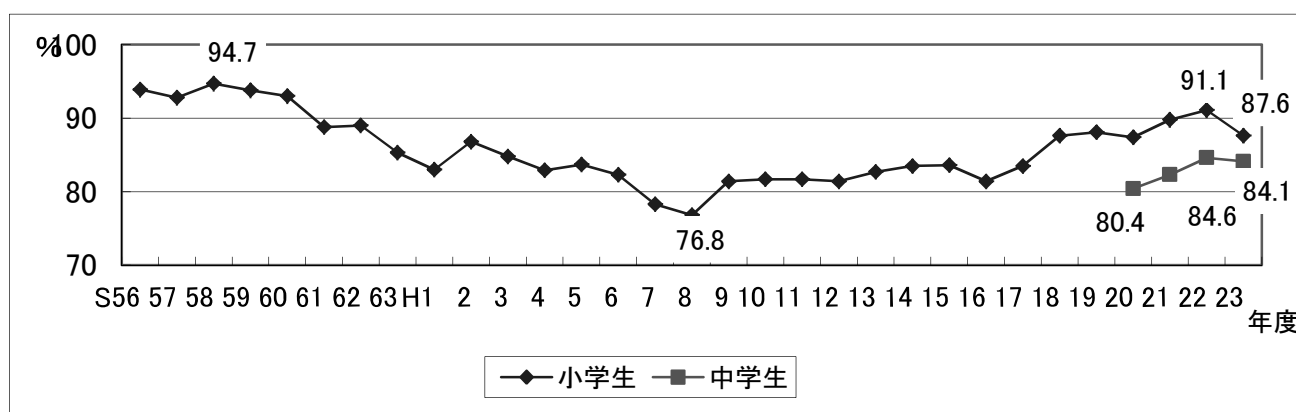
◆学校給食における年間を通じた地場産物(岡山県産)使用割合

平成19年度調査	34.3%
平成20年度調査	34.3%
平成21年度調査	37.3%
平成22年度調査	31.1%
平成23年度調査	33.8%

(津山市教育委員会調査)



◆朝食摂取状況



(津山市食生活についてのアンケート調査、平成23年度は岡山県学校栄養士会実施調査)

※調査対象:全小学校3.6年生、全中学校2年生(平成23年度は小学校5年生、中学校2年生各1クラス)

◆学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱数

(平成24年5月1日現在)

科別 学校別		学 校 医			学校歯科医	学校薬剤師
		内科	眼科	耳鼻咽喉科		
委嘱 医師 人数	小学校	28人	27人	27人	45人	28人
	中学校	8	8	8	20	8
合 計		36	35	35	65	36

3. 文 化 財

◆ 国指定文化財

名 称	所 在 地	所 有 者	指 定 年 月 日	種 別	分 類
1 木 造 神 号 額	二 宮 601 番 地	高 野 神 社	明 治 34 年 8 月 2 日	重 要 文 化 財	工 芸 品
2 中 山 神 社 本 殿	一 宮 695 番 地	中 山 神 社	大 正 3 年 4 月 17 日	重 要 文 化 財	建 造 物
3 総 社 本 殿	総 社 427 番 地	総 社	大 正 3 年 4 月 17 日	重 要 文 化 財	建 造 物
4 院 庄 館 跡 (児 島 高 徳 伝 説 地)	神 戸 415 番 地	他 国・作 楽 神 社・個 人	大 正 11 年 3 月 8 日	記 念 物	史 跡
5 太 刀 銘 「 国 行 」	神 戸 433 番 地	作 楽 神 社	昭 和 4 年 4 月 6 日	重 要 文 化 財	工 芸 品
6 木 造 随 身 立 像	二 宮 601 番 地	高 野 神 社	昭 和 31 年 6 月 28 日	重 要 文 化 財	彫 刻
7 津 山 城 跡	山 下 83-3 番 地	他 津 山 市	昭 和 38 年 9 月 28 日	記 念 物	史 跡
8 箕 作 阮 甫 旧 宅	西 新 町 6 番 地	津 山 市	昭 和 50 年 3 月 18 日	記 念 物	史 跡
9 田 熊 の 舞 台	田 熊 2384 番 地	田 熊 八 幡 神 社	昭 和 50 年 9 月 3 日	重 要 有 形 民 俗 文 化 財	
10 本 谷 の ト ラ フ ダ ケ 自 生 地	南 方 中 236-2 番 地	津 山 市	昭 和 51 年 6 月 16 日	記 念 物	天 然 記 念 物
11 美 和 山 古 墳 群	二 宮 2064 番 地	他 津 山 市	昭 和 52 年 3 月 8 日	記 念 物	史 跡
12 三 成 古 墳	中 北 下 814-3 番 地	津 山 市	昭 和 54 年 10 月 23 日	記 念 物	史 跡
13 鶴 山 八 幡 宮 本 殿	山 北 159 番 地	鶴 山 八 幡 宮	昭 和 55 年 5 月 31 日	重 要 文 化 財	建 造 物
14 岡 山 県 立 津 山 高 等 学 校 本 館 (旧 岡 山 県 津 山 中 学 校)	椿 高 下 62 番 地	岡 山 県	平 成 7 年 12 月 26 日	重 要 文 化 財	建 造 物
15 旧 津 山 藩 別 邸 庭 園 (衆 楽 園)	山 北 628-1 番 地	他 国・津 山 市	平 成 14 年 9 月 20 日	記 念 物	名 勝
16 美 作 国 分 寺 跡	国 分 寺 280 番 地	他 津 山 市・個 人	平 成 16 年 2 月 27 日	記 念 物	史 跡
17 木 造 獅 子 2 対	二 宮 601 番 地	高 野 神 社	平 成 16 年 6 月 8 日	重 要 文 化 財	彫 刻

◆ 県指定文化財

名 称	所 在 地	所 有 者	指 定 年 月 日	種 別	分 類
1 徳 守 神 社 社 殿	宮 脇 町 5 番 地	徳 守 神 社	昭 和 31 年 4 月 1 日	重 要 文 化 財	建 造 物
2 鶴 山 八 幡 宮 拝 殿、釣 殿 及 び 神 饌 所 並 び に 末 社 薬 祖 神 社 社 殿	山 北 159 番 地	鶴 山 八 幡 宮	昭 和 31 年 4 月 1 日	重 要 文 化 財	建 造 物
3 高 田 神 社 の 獅 子 舞	上 横 野 79-1 番 地	高 田 神 社 横 野 獅 子 舞 保 存 会	昭 和 32 年 5 月 13 日	重 要 無 形 民 俗 文 化 財	
4 石 造 無 縫 塔 石 造 宝 篋 印 塔	加 茂 町 塔 中 342-2 番 地	個 人	昭 和 34 年 3 月 27 日	重 要 文 化 財	建 造 物
5 津 山 だ ん じ り	小 田 中 186 番 地	他 伏 見 町 町 内 会 他	昭 和 43 年 4 月 19 日	重 要 有 形 民 俗 文 化 財	
6 八 幡 神 社 及 び 物 見 神 社 の 花 祭	阿 波・加 茂 町 物 見	阿 波 八 幡 神 社 物 見 神 社	昭 和 47 年 4 月 21 日	重 要 無 形 民 俗 文 化 財	
7 妙 向 尼 画 像 附 妙 向 尼 消 息	戸 川 町 68 番 地	個 人	昭 和 50 年 6 月 13 日	重 要 文 化 財	絵 画
8 新 野 東 の 宝 篋 印 塔	新 野 東 563-1 番 地	新 野 東 地 区	昭 和 51 年 3 月 31 日	重 要 文 化 財	建 造 物
9 新 野 ま つ り	新 野 山 形 地 区	山 形 八 幡 神 社 氏 子	昭 和 52 年 4 月 8 日	重 要 無 形 民 俗 文 化 財	
10 久 米 魔 寺 跡	宮 尾 533-3 番 地	他 岡 山 県	昭 和 52 年 4 月 8 日	記 念 物	史 跡
11 高 野 神 社 本 殿	二 宮 601 番 地	高 野 神 社	昭 和 58 年 4 月 8 日	重 要 文 化 財	建 造 物
12 岩 屋 城 跡	中 北 上 247-2 番 地	他 津 山 市	昭 和 62 年 4 月 3 日	記 念 物	史 跡
13 袈 裟 褌 文 銅 鐸	山 下 92 番 地	津 山 市	平 成 3 年 4 月 5 日	重 要 文 化 財	考 古 資 料
14 尾 所 の 桜	阿 波 1927-1 番 地	津 山 市	平 成 8 年 4 月 2 日	記 念 物	天 然 記 念 物
15 刀 剣 製 作 技 術	福 井 1947 番 地	安 藤 幸 夫	平 成 9 年 3 月 25 日	重 要 無 形 文 化 財	
16 紙 本 墨 画 淡 彩 江 戸 一 目 図 屏 風	山 下 92 番 地	津 山 市	平 成 10 年 3 月 24 日	重 要 文 化 財	絵 画
17 柳 谷 古 墳 出 土 遺 物	沼 600-1 番 地	津 山 市	平 成 12 年 3 月 28 日	重 要 文 化 財	考 古 資 料
18 大 身 槍 熊 毛 槍 鞘 付 附 黒 熊 毛 鞘	山 下 92 番 地	津 山 市	平 成 12 年 3 月 28 日	重 要 文 化 財	歴 史 資 料
19 日 上 天 王 山 古 墳・日 上 畝 山 古 墳 群	日 上 422-3 番 地	他 津 山 市・個 人	平 成 12 年 3 月 28 日	記 念 物	史 跡
20 妙 法 寺 本 堂	西 寺 町 65 番 地	妙 法 寺	平 成 13 年 3 月 23 日	重 要 文 化 財	建 造 物
21 刀 銘 藤 原 直 胤 (花 押) 天 保 八 年 一 陽 来 復 日	本 町 三 丁 目 26 番 地	個 人	平 成 15 年 3 月 11 日	重 要 文 化 財	工 芸 品
22 梵 鐘	小 田 中 1203 番 地	安 国 寺	平 成 17 年 3 月 11 日	重 要 文 化 財	工 芸 品
23 愛 染 寺 鐘 楼 門 及 び 仁 王 堂	西 寺 町 98 番 地	愛 染 寺	平 成 18 年 3 月 17 日	重 要 文 化 財	建 造 物
24 矢 筈 城 跡 (高 山 城 跡) 附 伝 草 苧 景 継 墓 所	加 茂 町 山 下・知 和	津 山 市 他	平 成 18 年 3 月 17 日	記 念 物	史 跡
25 本 源 寺 霊 屋、表 門 及 び 津 山 藩 主 森 家 一 門 墓 附 参 道、石 灯 籠	津 山 市 小 田 中 1373 番 地	本 源 寺	平 成 21 年 3 月 10 日	重 要 文 化 財	建 造 物
26 木 工 芸	津 山 市 鉄 砲 町 170 番 地	小 椋 芳 之	平 成 23 年 3 月 4 日	重 要 無 形 文 化 財	
27 津 山 藩 松 平 家 文 書	津 山 市 山 北 520	津 山 市	平 成 24 年 3 月 9 日	重 要 文 化 財	古 文 書
28 津 山 藩 主 松 平 家 菩提 所 泰 安 寺	津 山 市 西 寺 町 12	泰 安 寺	平 成 24 年 3 月 9 日	記 念 物	史 跡

◆市指定文化財

名 称	所 在 地	所 有 者	指 定 年 月 日	種 別	分 類
1 妙 法 寺 の 鰐 口	西 寺 町 65 番 地	妙 法 寺	昭 和 31 年 7 月 4 日	重 要 文 化 財	工 芸 品
2 玉 置 家 文 書	山 下 92 番 地	津 山 市	昭 和 31 年 7 月 4 日	重 要 文 化 財	古 文 書
3 松 平 藩 文 書	山 下 92 番 地	津 山 市	昭 和 31 年 7 月 4 日	重 要 文 化 財	古 文 書
4 沼 弥 生 住 居 址 群	沼 597-1 番 地	他 津 山 市	昭 和 31 年 7 月 4 日	記 念 物	史 跡
5 津 山 城 外 濠 跡	大 手 町 5-1 番 地	津 山 市	昭 和 31 年 7 月 4 日	記 念 物	史 跡
6 佐 良 山・剣 戸 塚 古 墳 群 と 中 宮 1 号 墳	福 田 30-1 番 地	他 個 人	昭 和 31 年 7 月 4 日	記 念 物	史 跡
7 河 辺 上 之 町 (桝 形)	河 辺 1325-1 番 地	他 津 山 市	昭 和 31 年 7 月 4 日	記 念 物	史 跡
8 神 伝 流	山 北 471 番 地	神 伝 流 津 山 游 泳 会	昭 和 31 年 9 月 12 日	重 要 無 形 文 化 財	
9 津 山 ひ げ く じ ら 化 石	山 下 97 番 地	津 山 科 学 教 育 博 物 館	昭 和 38 年 3 月 31 日	記 念 物	天 然 記 念 物
10 近 長 四 ツ 塚 古 墳 群	近 長 422 番 地	他 個 人	昭 和 38 年 7 月 1 日	記 念 物	史 跡
12 木 造 金 剛 力 士 像	西 寺 町 98 番 地	愛 染 寺	昭 和 39 年 7 月 1 日	重 要 文 化 財	彫 刻
13 井 口 車 塚 古 墳	河 辺 506-2 番 地	津 山 市	昭 和 39 年 7 月 1 日	記 念 物	史 跡
14 石 林 園	小 田 中 1203 番 地	安 国 寺	昭 和 39 年 7 月 1 日	記 念 物	名 勝
15 国 分 寺 飯 塚 古 墳	国 分 寺 213 番 地	個 人	昭 和 40 年 7 月 1 日	記 念 物	史 跡
16 高 野 山 西 正 仙 塚 古 墳	高 野 山 西 1866 番 地	他 個 人	昭 和 40 年 7 月 31 日	記 念 物	史 跡
17 リ ン パ ー グ 岩	桑 下 1694-3 番 地	他 個 人	昭 和 41 年 4 月 12 日	記 念 物	天 然 記 念 物
18 油 木 北 奥 の 前 古 墳	油 木 北 194-1 番 地	他 個 人	昭 和 43 年 3 月 19 日	記 念 物	史 跡
19 狐 塚 古 墳	久 米 川 南 2231-1 番 地	個 人	昭 和 43 年 3 月 19 日	記 念 物	史 跡
20 岡 の 大 塚	中 北 下 1663-17 番 地	他 個 人	昭 和 43 年 3 月 19 日	記 念 物	史 跡
21 鋳 場 古 墳	久 米 川 南 1111-1 番 地	津 山 市	昭 和 43 年 3 月 19 日	記 念 物	史 跡
22 大 日 古 墳	宮 尾 913 番 地	他 個 人	昭 和 43 年 3 月 19 日	記 念 物	史 跡
23 山 田 原 古 墳	福 田 下 372-1 番 地	個 人	昭 和 43 年 3 月 19 日	記 念 物	史 跡
24 宮 部 焼 窯 跡	宮 部 上 1073 番 地	個 人	昭 和 43 年 3 月 19 日	記 念 物	史 跡
25 妙 福 寺 の サ ル ス ベ リ	中 北 上 556 番 地	妙 福 寺	昭 和 43 年 3 月 19 日	記 念 物	天 然 記 念 物
26 高 津 神 社 の コ ガ の 木	里 公 文 1515-1 番 地	高 津 神 社	昭 和 43 年 3 月 19 日	記 念 物	天 然 記 念 物
27 南 方 中 の サ カ キ	南 方 中 138-1 番 地	個 人	昭 和 43 年 3 月 19 日	記 念 物	天 然 記 念 物
28 秋 草 双 雀 鏡 ・ 双 雀 鏡	加 茂 町 小 中 原 143 番 地	津 山 市	昭 和 43 年 3 月 26 日	重 要 文 化 財	工 芸 品
29 岸 道 谷 の ナ ラ	加 茂 町 河 井 390-1 番 地	個 人	昭 和 43 年 3 月 26 日	記 念 物	天 然 記 念 物
30 院 庄 貽 文	院 庄 779 番 地	清 眼 寺	昭 和 44 年 7 月 2 日	重 要 文 化 財	古 文 書
31 森 忠 政 書 簡	戸 川 町 68 番 地	個 人	昭 和 44 年 7 月 2 日	重 要 文 化 財	古 文 書
32 本 光 寺 の 銀 モ ク セ イ	一 宮 332 番 地	本 光 寺	昭 和 44 年 7 月 2 日	記 念 物	天 然 記 念 物
33 宰 務 家 の ヒ イ ラ ギ	三 浦 245 番 地	個 人	昭 和 44 年 7 月 2 日	記 念 物	天 然 記 念 物
34 善 福 寺 の 宝 篋 印 塔 と 板 碑	里 公 文 624 番 地	善 福 寺	昭 和 44 年 10 月 9 日	重 要 文 化 財	建 造 物
35 牛 岩 遺 跡	桑 下 1688-5 番 地	個 人	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
36 祇 園 千 人 塚 古 墳	南 方 中 1582-3 番 地	他 津 山 市	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
37 龍 王 塚 古 墳	久 米 川 南 2685 番 地	他 個 人	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
38 城 塔 上 1 号 墳	久 米 川 南 1111-1 番 地	津 山 市	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
39 地 蔵 二 つ 塚 古 墳	久 米 川 南 316-1 番 地	津 山 市	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
40 大 沢 古 墳 5 号	久 米 川 南 1111-11 番 地	他 個 人 ・ 津 山 市	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
41 七 つ 塚 古 墳 群	戸 脇 190-1 番 地	個 人	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
42 観 音 免 古 墳	神 代 1501-1 番 地	津 山 市	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
43 長 者 屋 敷	久 米 川 南 267 番 地	個 人	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
44 瓢 箪 山 古 墳	桑 下 1272-3 番 地	他 津 山 市	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
45 中 須 賀 舟 着 場 石 灯 籠	宮 尾 個 人	個 人	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
46 西 御 殿 跡	桑 下 1510-1 番 地	他 個 人	昭 和 44 年 10 月 9 日	記 念 物	史 跡
47 阿 波 八 幡 神 社 の 社 叢	阿 波 1479 ・ 1480 番 地	阿 波 八 幡 神 社	昭 和 44 年 10 月 30 日	記 念 物	天 然 記 念 物
48 西 登 山 金 屋 寺	阿 波 656 番 地	津 山 市	昭 和 46 年 2 月 10 日	記 念 物	史 跡
49 万 燈 山 古 墳	加 茂 町 塔 中 606 番 地	他 津 山 市	昭 和 46 年 3 月 1 日	記 念 物	史 跡
50 蛇 谷 古 墳	油 木 北 1520 番 地	個 人	昭 和 46 年 3 月 24 日	記 念 物	史 跡
51 油 木 の 源 平 椿	油 木 北 773-2 番 地	個 人	昭 和 46 年 3 月 24 日	記 念 物	天 然 記 念 物
52 工 門 道 標	新 野 東 186-1 番 地	工 門 町 内 会	昭 和 48 年 3 月 31 日	重 要 文 化 財	建 造 物
53 山 形 八 幡 神 社 の 鰐 口	新 野 山 杉 2235 番 地	山 形 八 幡 神 社	昭 和 48 年 3 月 31 日	重 要 文 化 財	工 芸 品
54 大 吉 出 土 の 須 恵 器 大 甕	大 吉 1020 番 地	五 穀 寺	昭 和 48 年 3 月 31 日	重 要 文 化 財	考 古 資 料
55 広 戸 神 社 と 五 穀 寺 境 内	大 吉 1017 番 地	他 広 戸 神 社 ・ 五 穀 寺	昭 和 48 年 3 月 31 日	記 念 物	史 跡
56 西 村 の 経 塚	市 場 1215 番 地	個 人	昭 和 48 年 3 月 31 日	記 念 物	史 跡
57 西 村 古 墳 群	市 場 476-1 番 地	他 個 人	昭 和 48 年 3 月 31 日	記 念 物	史 跡
58 清 瀧 寺 宝 篋 印 塔	河 面 330 番 地	清 瀧 寺	昭 和 48 年 10 月 20 日	重 要 文 化 財	建 造 物
59 絹 本 著 色 十 三 仏 図	上 田 邑 470 番 地	安 養 寺	昭 和 48 年 10 月 20 日	重 要 文 化 財	絵 画
60 愛 山 松 平 家 墓 所	小 田 中 185-1 番 地	他 津 山 市	昭 和 48 年 10 月 20 日	記 念 物	史 跡

	名 称	所 在 地	所 有 者	指定年月日	種 別	分 類
61	宇那提森のムクノギ	二宮 1960 番地	高野神社	昭和48年10月20日	記念物	天然記念物
62	中山神社祝木のケヤキ	一宮 685 番地	中山神社	昭和48年10月20日	記念物	天然記念物
63	桑谷たたら遺跡	加茂町黒木683番地	他 個 人	昭和50年3月31日	記念物	史 跡
64	青柳のヒノキ・スギ	加茂町青柳1042番地	個 人	昭和50年3月31日	記念物	天然記念物
65	五輪原のイタヤカエデ	加茂町倉見1061-1番地	個 人	昭和50年3月31日	記念物	天然記念物
66	茶屋林道標	杉宮 738 番地	杉宮町内会	昭和50年4月1日	重要文化財	建造物
67	伝奥の前古墳出土内行花文鏡	里 公 文 (伝油木北出土)	個 人	昭和50年7月17日	重要文化財	考古資料
68	長谷のムクノギ	南方中 188 番地	個 人	昭和50年7月17日	記念物	天然記念物
69	長田住居跡	加茂町青柳507番地	津山市	昭和50年9月1日	記念物	史 跡
70	中山神社神門	一宮 695 番地	中山神社	昭和50年11月15日	重要文化財	建造物
71	大隅神社神門	上之町 78 番地	大隅神社	昭和50年11月15日	重要文化財	建造物
72	成道寺山門	西寺町 18 番地	成道寺	昭和50年11月15日	重要文化財	建造物
73	中山神社戦国武将文書	一宮 695 番地	中山神社	昭和50年11月15日	重要文化財	古文書
74	木造大日如来坐像	阿波 3677 番地	高福寺	昭和51年8月30日	重要文化財	彫 刻
75	木造菩提達磨圓覚大師坐像	阿波 3677 番地	高福寺	昭和51年8月30日	重要文化財	彫 刻
76	木造阿弥陀如来坐像	阿波 3677 番地	高福寺	昭和51年8月30日	重要文化財	彫 刻
77	木製太鼓の胴	阿波 1479 番地	阿波八幡神社	昭和51年8月30日	重要有形民俗文化財	
78	安井村庄屋古文書	安井 146 番地	個 人	昭和52年4月22日	重要文化財	古文書
79	本丸城跡	市場 1422-2 番地	他 個 人	昭和52年4月22日	記念物	史 跡
80	塩手池の礫岩と化石	市場 161-1 番地	塩手池土地改良区	昭和52年4月22日	記念物	天然記念物
81	桑谷向こう自然林	加茂町黒木652-1番地	他 加茂町黒木部落	昭和52年12月9日	記念物	天然記念物
82	金剛寺の銀モクセイ・ツバキ	西上 500 番地	金剛寺	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
83	広戸神社境内のスギ	大吉 1027 番地	広戸神社	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
84	新善光寺のサルスベリ	中村 393 番地	新善光寺	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
85	西加茂神社のナナミノギ	杉宮 406 番地	西加茂神社	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
86	山形八幡神社の社叢	新野山形 2238-2 番地	山形八幡神社	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
87	朝吉神社のツクバネガシ	上村 161 番地	朝吉神社	昭和55年4月1日	記念物	天然記念物
88	藤蔵池頭古墳出土蛇行剣	里 公 文	津山市	昭和56年3月31日	重要文化財	考古資料
89	神代のユミカン	神代 588-2 番地	個 人	昭和56年3月31日	記念物	天然記念物
91	神代のシイ	神代 959 番地	個 人	昭和56年3月31日	記念物	天然記念物
92	キナザコ製鉄遺跡	加茂町黒木 289 番地	個 人	昭和56年5月18日	記念物	史 跡
93	石造芭蕉句碑	日本 原	日本原町内会	昭和57年12月23日	重要文化財	建造物
94	一遍上人伝承地	中村 393 番地	新善光寺	昭和57年12月23日	記念物	史 跡
95	神楽尾城跡	小原 790 番地	他 津山市	昭和61年7月10日	記念物	史 跡
96	観音堂遺跡出土の備前焼の壺	新野東 1126 番地	津山市	平成元年6月20日	重要文化財	考古資料
97	観音堂遺跡出土の青磁碗	新野東 1126 番地	津山市	平成元年6月20日	重要文化財	考古資料
98	大岩出土の勝間田焼の壺	新野東 1126 番地	津山市	平成元年6月20日	重要文化財	考古資料
99	臥龍藤(千磐神社の藤蔓)	加茂町知和 343 番地	千磐神社	平成元年7月20日	記念物	天然記念物
100	五穀寺境内の紅梅	大吉 1020 番地	五穀寺	平成2年5月28日	記念物	天然記念物
101	津山洋学資料館	川崎 823 番地	津山市	平成4年5月1日	重要文化財	建造物
102	田熊の算額	田熊 2384 番地	田熊八幡神社	平成4年5月1日	重要有形民俗文化財	
103	杉さま古墳	杉宮 404-1 番地	西加茂神社	平成4年9月25日	記念物	史 跡
104	阿波八幡神社本殿	阿波 1479 番地	阿波八幡神社	平成5年4月23日	重要文化財	建造物
105	山寺古墳群	西中 260-1 番地	個 人	平成6年4月20日	記念物	史 跡
106	森長継逆修塔及び周囲の石柵	下田邑 1068 番地	本光寺	平成6年5月16日	重要文化財	建造物
107	荒神山城跡	荒神山 123-1 番地	他 熊野神社	平成6年5月16日	記念物	史 跡
108	佐良山碑	中島 753 番地	佐良山財産区	平成8年6月10日	重要文化財	建造物
109	妙願寺板戸障壁画	戸川町 68 番地	妙眼寺	平成8年6月10日	重要文化財	絵 画
110	極楽寺のカヤ	加茂町宇野 954 番地	極楽寺	平成8年11月26日	記念物	天然記念物
111	白加美神社殿及び隨身門並びに末社多賀神社社殿附・白加美神社絵図面	小田中 254 番地	白加美神社	平成9年3月19日	重要文化財	建造物
112	大隅神社本殿	上之町 78 番地	大隅神社	平成9年3月19日	重要文化財	建造物
113	医王山城跡	吉見 1609 番地	個 人	平成9年8月7日	記念物	史 跡
114	徳守神社神輿	宮脇町 5 番地	徳守神社	平成10年8月4日	重要有形民俗文化財	
115	絹本著色仏涅槃図	院庄 779 番地	清眼寺	平成11年1月13日	重要文化財	絵 画
116	本光寺境内	一宮 332 番地	他 本光寺	平成11年1月13日	記念物	史 跡
117	河原山城跡	市場 1129 番地	他 個 人	平成11年1月29日	記念物	史 跡
118	国司尾館	市場 133-1 番地	他 個 人	平成11年1月29日	記念物	史 跡

	名 称	所 在 地	所 有 者	指 定 年 月 日	種 別	分 類
119	高野神社隨身門及び覆屋	二 宮 601 番 地	高 野 神 社	平成 11 年 9 月 24 日	重 要 文 化 財	建 造 物
120	妙 法 寺 鐘 楼	西 寺 町 65 番 地	妙 法 寺	平成 11 年 9 月 24 日	重 要 文 化 財	建 造 物
121	煙 硝 藏 跡	平 福 283-1 番 地	他 個	平成 13 年 3 月 1 日	記 念 物	史 跡
122	木 工 芸 技 術	山 下 18-11 番 地	竹 森 正 美	平成 13 年 7 月 26 日	重 要 無 形 文 化 財	
123	大 隅 神 社 神 輿	上 之 町 79 番 地	大 隅 神 社	平成 13 年 7 月 26 日	重 要 有 形 民 俗 文 化 財	
124	出 雲 街 道 絵 図	河 辺 1511 番 地	個 人	平成 14 年 5 月 24 日	重 要 文 化 財	歴 史 資 料
125	津 山 城 石 切 場 跡	大 谷 47 番 地	他 石 山 寺	平成 14 年 5 月 24 日	記 念 物	史 跡
126	宝 蔵 寺 の ヤ マ ザ ク ラ	加 茂 町 斎 野 谷 226 番 地	宝 蔵 寺	平成 14 年 6 月 27 日	記 念 物	天 然 記 念 物
127	長 法 寺 阿 弥 陀 堂 腰 高 障 子 襖 及 び	井 口 246 番 地	長 法 寺	平成 14 年 9 月 26 日	重 要 文 化 財	絵 画
128	牧 山 家 文 書	山 下 92 番 地	個 人	平成 14 年 9 月 26 日	重 要 文 化 財	古 文 書
129	牧 家 文 書	山 下 92 番 地	個 人	平成 14 年 9 月 26 日	重 要 文 化 財	古 文 書
130	千 代 稲 荷 神 社 本 殿	山 下 82 番 地	千 代 稲 荷 神 社	平成 15 年 2 月 17 日	重 要 文 化 財	建 造 物
132	木 造 森 忠 政 公 坐 像	小 田 中 1373 番 地	本 源 寺	平成 15 年 2 月 17 日	重 要 文 化 財	彫 刻
133	八 出 天 満 宮 本 殿 附 棟 札 等 9 枚	八 出 357 番 地	八 出 天 満 宮	平成 15 年 9 月 30 日	重 要 文 化 財	建 造 物
134	米 井 家 文 書	下 高 倉 東 1723 番 地	個 人	平成 15 年 9 月 30 日	重 要 文 化 財	古 文 書
135	津 山 景 観 図 屏 風	山 下 92 番 地	個 人	平成 16 年 3 月 19 日	重 要 文 化 財	絵 画
136	木 造 千 手 観 世 音 菩 薩 立 像	河 面 330 番 地	清 瀧 寺	平成 16 年 3 月 19 日	重 要 文 化 財	彫 刻
137	木 造 聖 観 世 音 菩 薩 坐 像	加 茂 町 公 郷 132 番 地	法 福 寺	平成 16 年 8 月 16 日	重 要 文 化 財	彫 刻
138	妙 願 寺 庫 裏 及 び 客 殿	戸 川 町 68 番 地	妙 願 寺	平成 16 年 9 月 24 日	重 要 文 化 財	建 造 物
139	知 和 の 鰯 口	加 茂 町 小 中 原 143 番 地	知 和 自 治 団	平成 17 年 1 月 31 日	重 要 文 化 財	工 芸 品
140	茶 屋 の 一 里 塚	領 家 307-2 番 地	津 山 市	平成 17 年 2 月 15 日	記 念 物	史 跡
141	徳 守 神 社 撰 社 住 吉 神 社 本 殿	宮 脇 町 5 番 地	徳 守 神 社	平成 17 年 3 月 24 日	重 要 文 化 財	建 造 物
142	楢 船 着 場 跡 の 常 夜 灯	楢 37-2 番 地	個 人	平成 18 年 10 月 26 日	記 念 物	史 跡
143	嵯 峨 山 城 跡	中 島 753 番 地	他 佐 良 山 財 産 区	平成 18 年 10 月 26 日	記 念 物	史 跡
145	横 野 和 紙 製 作 技 術	上 横 野 1874 番 地	上 田 繁 男	平成 19 年 4 月 26 日	重 要 無 形 文 化 財	
146	中 山 神 社 惣 神 殿	東 一 宮 695 番 地	中 山 神 社	平成 20 年 10 月 30 日	重 要 文 化 財	建 造 物
147	地 蔵 院 愛 宕 堂 附 棟 札	小 田 中 189 番 地	地 蔵 院	平成 20 年 10 月 30 日	重 要 文 化 財	建 造 物
148	大 隅 神 社 昭 徳 館 (旧 津 山 男 子 尋 常 高 等 小 学 校 講 堂)	林 田 1397 番 地	大 隅 神 社	平成 20 年 10 月 30 日	重 要 文 化 財	建 造 物
149	千 磐 神 社 の ス ギ	加 茂 町 知 和 343 番 地	千 磐 神 社	平成 20 年 10 月 30 日	記 念 物	天 然 記 念 物
150	地 蔵 院 本 堂 (旧 東 照 宮 社 殿)	小 田 中 183-1 番 地	地 蔵 院	平成 20 年 3 月 26 日	重 要 文 化 財	建 造 物
151	宗 永 寺 五 輪 塔 (森 長 継 一 門 供 養 墓)	小 田 中 1303-8 番 地	宗 永 寺	平成 21 年 11 月 25 日	重 要 文 化 財	建 造 物
152	本 源 寺 本 堂 ・ 庫 裏 (渡 り 廊 下 ・ 玄 關 を 含 む)	小 田 中 1373 番 地	他 本 源 寺	平成 21 年 11 月 25 日	重 要 文 化 財	建 造 物
154	大 隅 神 社 境 内	上 之 町 78 番 地	他 大 隅 神 社	平成 22 年 5 月 21 日	記 念 物	史 跡
155	殿 田 1 号 墳 及 び 荒 神 西 古 墳 出 土 遺 物	沼 600-1 番 地、中 北 下 1271 番 地	津 山 市	平成 23 年 1 月 25 日	重 要 文 化 財	考 古 資 料
156	津 山 松 平 藩 主 所 用 輿	山 下 92 番 地	津 山 市	平成 23 年 4 月 26 日	重 要 文 化 財	歴 史 資 料
157	津 山 松 平 藩 主 所 用 乗 物	山 下 92 番 地	津 山 市	平成 23 年 4 月 26 日	重 要 文 化 財	歴 史 資 料
158	荻 田 家 住 宅 及 び 酒 造 場	勝 間 田 町 17 番 地	他 個 人	平成 23 年 8 月 23 日	記 念 物	史 跡

◆登録有形文化財

	名 称	所 在 地	所 有 者	指 定 年 月 日	分 類
1	城 東 む か し 町 屋 (主 屋 ・ 付 属 屋 ・ 座 敷 ・ 洋 館 ・ 裏 座 敷 ・ 東 蔵 ・ 西 蔵 ・ 茶 室 ・ 表)	東 新 町 40 番 地	津 山 市	平成 9 年 5 月 7 日	建 造 物
2	作 州 民 芸 館 (旧 土 居 銀 行 本 店)	西 今 町 18 番 地	津 山 市	平成 9 年 5 月 7 日	〃
3	森 本 慶 三 記 念 館 (旧 津 山 基 督 教 図 書 館)	山 下 98 番 地	津 山 社 会 教 育 文 化 財 団	平成 10 年 10 月 9 日	〃
4	知 新 館 (主 屋 ・ 土 蔵 ・ 塀 ・ 表 門)	南 新 座 26 番 地	津 山 市	平成 10 年 10 月 9 日	〃
5	翁	橋 西 今 町	津 山 市	平成 11 年 10 月 14 日	〃
6	江 見 写 真 館	山 下 28 番 地	個 人	平成 12 年 2 月 15 日	〃
7	あ け ぼ の 旅 館	戸 川 町 31 番 地	1 個 人	平成 12 年 4 月 28 日	〃
8	津 山 郷 土 博 物 館 (旧 津 山 市 庁 舎)	山 下 92 番 地	津 山 市	平成 18 年 10 月 18 日	〃
9	JR 因 美 線 美 作 滝 尾 駅 駅 舎	堀 坂 257-3 番 地	津 山 市	平成 20 年 10 月 23 日	〃
10	清 水 家 住 宅	河 辺 宇 古 屋 敷 889	個 人	平成 20 年 3 月 19 日	〃
11	旧 中 島 病 院 本 館	田 町 122 番 地	津 山 市	平成 22 年 9 月 10 日	〃

◆登録記念物

	名 称	所 在 地	所 有 者	指 定 年 月 日	分 類
1	旧 梶 村 氏 庭 園	東 新 町 40 番 地	他 津 山 市	平成 24 年 1 月 24 日	名 勝 地 関 係

平成24年5月1日現在

国指定文化財 17件
県指定文化財 28件

市指定文化財 153件
登録有形文化財 11件

登録記念物 1件

あとがき

『教育委員会発足60周年記念誌 津山市の教育 ―平成24年度―「津山市教育委員会60年の歩み」』を発刊することができました。編集にあたったものとして望外の喜びです。

戦後、我が国の教育行政上特筆すべき教育委員会制度が生まれ、昭和23年(1948年)11月1日岡山県教育委員会が、昭和27年(1952年)11月1日には津山市をはじめ各市町村教育委員会が発足しました。そして、本年・平成24年、60周年という記念すべき年を迎えました。

5年前の平成19年11月の教育委員会会議定例会の教育委員長挨拶で、「今まで津山市教育委員会として周年記念の行事、記念誌の編集等の記念事業は実施されていないので、『津山市教育委員会55年のあゆみ』について、判る範囲で資料の収集をし、整理・編集しておきたいので作業を進めることにしました。」と言う意味のことを申し上げました。津山市教育委員会「教育年表」は、事務局や市立図書館で調べたところ、昭和43年に発行された「津山市教育要覧―1967―20年の歩み」(新学制20周年記念として発行されたもの)に「教育委員会の沿革」として、昭和22年3月から昭和31年10月までの10年間の歩みが僅か1ページに、また、昭和60年発行の「津山市史第7巻現代Ⅱ―大正・昭和時代―」の「年表」には教育関連事項は1年間あたり1～数項目しか記載がなく、津山市教育委員会の年表としてはまとまったものがないことが分かりました。まず「教育年表」の作成をすることにし、「主要参考文献」等から、津山市の教育・文化の関連事項を抜粋、整理・まとめました。また、全国・岡山県の動きについても要点を抜粋し右の欄に記載し関連づけて見られるようにしました。昭和20年から62年間の「教育略年表」を一応まとめましたが、十分な資料が得られないこともあり、不十分な点が多々あるものと思っています。また教育行政重点施策の変遷についても何カ所か不明確な箇所がありました。しかし、色々難しい事項を克服し、「津山市教育委員会55年のあゆみ」をまとめることができました。

平成23年12月、教育委員会発足60周年を来年にひかえ、「60周年記念誌・60年の歩み」を編集することを委員協議会に提案しました。55年の歩みの項目にその後の5年間の内容を加え、新たな項目として「歴代教育委員・教育長回想記」を加えることとし、平成24年1月、関係者に回想記執筆の依頼状を送りました。平成24年度になり、記念誌の内容を、Ⅰ. 歴代教育委員・教育長回想記、Ⅱ. 津山市の教育―平成24年度―、Ⅲ. 津山市教育委員会60年の歩み Ⅳ. 資料 の4項目にまとめ、編集することにしました。岸本伍郎教育委員長、吉井常浩委員と教育総務課職員が担当項目の執筆とまとめをし、教育委員会にて全体の調整・編集を行いました。一部資料の不足箇所もありましたが、現時点で可能な範囲で「津山市教育委員会60年の歩み」をまとめることができました。また、平成24年度の教育委員会の内容、教育振興施策、教育財政、機関・施設等について具体的に分かりやすくまとめられ、内容の充実した素晴らしい記念誌となったことをうれしく思います。

昨年8月、釜石市の津波で流された泥水の中から多くの資料を探し出し、一枚一枚水洗いをしながら整理している状況が放映されました。学芸員の方が3月11日の震災で亡くなられた郷土歴史家の言葉を紹介されました。

『歴史は過去の囁語にらず、現在の警語であり、未来の指針なり』

(注 囁語ゲイゴ:たわごと、うわごと 警語ゲイゴ:警句 指針シシ:てびき、しるべ)

そして『記録・歴史を大事にし、記録・歴史から学ぶこと』が大切だと語っておられました。

この60周年記念誌「津山市の教育―平成24年度― 津山市教育委員会60年の歩み」が今後の津山市教育の充実発展に少しでも役にたつことを願い、万感の思いを「あとがき」にこめ、筆をおきます。

(教育委員長 岸本伍郎 記)

津山市教育委員会のホームページの紹介

URL : <http://www.city.tsuyama.lg.jp/>

◆教育委員会

業務内容：教育委員、教育方針、教育委員会組織

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価

◆教育委員会事務局

業務内容について各課で紹介していますので、ご参照ください。

◆補助執行を行う市長部局の部署



表紙：江戸一目図屏風：津山郷土博物館 所蔵

江戸一目図屏風は、津山藩松平家のお抱え絵師であった鋤形蕙斎（くわがた けいさい、1764～1824）が描いた江戸の鳥瞰図です。六曲一隻の屏風には、手前に隅田川を配して遠くに富士山を望みながら、江戸の町が細部にわたって描かれています。

東京スカイツリーの第1展望台に、複製が常設展示されています。

教育委員会発足60周年記念誌 津山市の教育 -平成24年度- 「津山市教育委員会60年の歩み」

発 行 平成24年9月

発行者 津 山 市 教 育 委 員 会

〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

津山市教育委員会のホームページ

URL <http://www.city.tsuyama.lg.jp/>